

Network Video Recorder

Quick Start Guide

ユーザー名:admin

パスワード;admin1111

V1.0.0

— 目次 —

1. 本手順書に関して.....	3
2. 画面操作の基本.....	4
2.1. マウス操作.....	4
2.2. ソフトウェアキーボード操作.....	4
3. ログイン.....	5
3.1. ログアウト状態確認.....	5
3.2. システムログイン.....	5
4. ライブ映像確認.....	7
4.1. 表示画面説明.....	7
4.2. デジタルズーム.....	8
4.3. PTZ 操作.....	8
4.4. 表示画面切り替え.....	9
5. 記録映像検索・再生.....	11
5.1. 記録映像検索.....	11
5.2. 再生画面操作.....	13
5.3. 再生日時変更.....	15
5.4. 検索モード終了.....	15
6. 記録データバックアップ.....	16
6.1. バックアップ画面表示.....	16
6.2. バックアップデバイスの確認.....	17
6.3. バックアップの設定.....	17
7. ログアウト.....	20
8. 補足.....	21
8.1. 日付時刻の修正方法.....	21
8.2. メインメニュー簡易用語説明.....	23
8.3. 右クリックメニュー簡易用語説明.....	24
8.4. プレビュー制御インターフェース簡易用語説明.....	24

1. 本手順書に関して

- ・ 本手順書は、Dahua 社製レコーダを、簡単に使用して頂くため、「ライブ映像確認」、「記録映像検索／視聴」、「記録映像バックアップ」の、3 機能に絞り説明しています。
- ・ 本手順書では 16ch 入力の機器を用いて説明しています。
- ・ ご使用の機器によっては、本手順書と一部異なる画面になる場合があります。

MDI MITSUBOSHI DIAMOND INDUSTRIAL CO., LTD.

MDI MITSUBOSHI DIAMOND INDUSTRIAL CO., LTD.

MDI MITSUBOSHI DIAMOND INDUSTRIAL CO., LTD.

MDI MITSUBOSHI DIAMOND INDUSTRIAL CO., LTD.

MDI MITSUBOSHI DIAMOND INDUSTRIAL CO., LTD.

MDI MITSUBOSHI DIAMOND INDUSTRIAL CO., LTD.

2. 画面操作の基本

Dahua 製品は、キーボードを使用せずに、マウスだけで操作を行います。
キーボード操作が必要な場合には ソフトウェアキーボードを使用します。
本章ではマウスの基本操作とソフトウェアキーボードの使用方法に関して簡単に説明します。

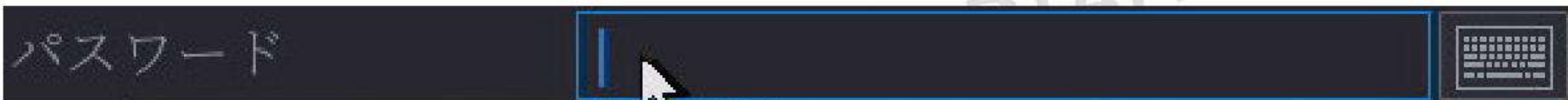
2.1. マウス操作

・基本の操作は下記の通りです。

左クリック	選択、決定
右クリック	キャンセル

2.2. ソフトウェアキーボード操作

1) パスワードなど文字入力が必要な場合



入力欄にマウスポインターを置き、左クリックするとソフトウェアキーボードが表示されます。



は“スペース”、 は、“1 文字消去” です。

『Shift』をクリックすると、大文字入力用に変更できます。



2) マウスで文字及び数字を左クリックし文字列を入力し、最後に『Enter』をクリックし、入力を確定させます。

3) 時間や年など数字のみの入力が必要な場合は



入力欄にマウスポインターを置くと
テンキーだけのソフトウェアキーボードが表示されます。



4) テンキーソフトウェアキーボードは Enter キーがないので
入力終了後、入力欄にマウスポインターを置き、左クリックで入力を確定させます。

3. ログイン

本章ではシステムにログインする為の手順を説明します。

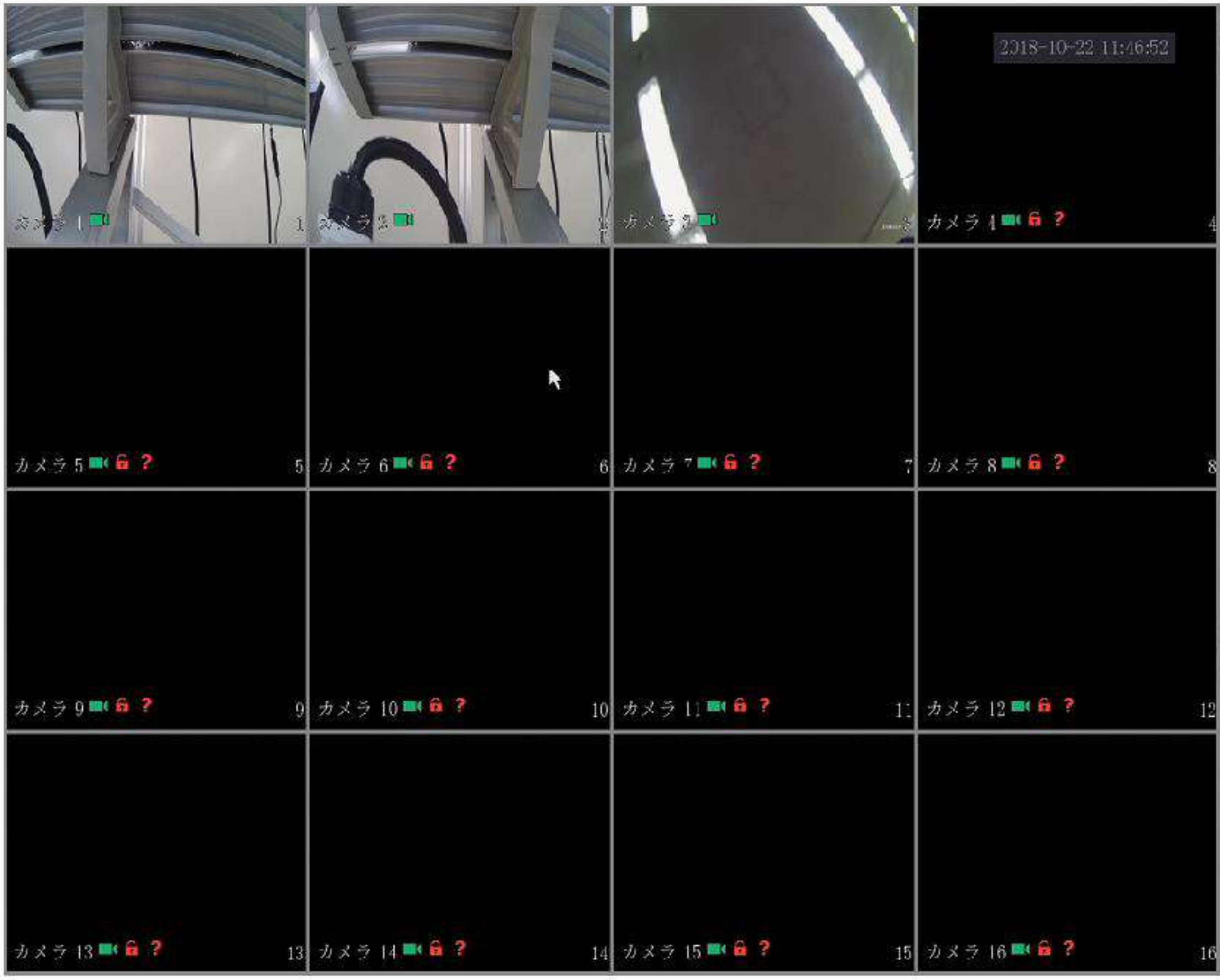
3.1. ログアウト状態確認

ログアウト状態から、レコーダを操作するにはシステムにログインする必要があります。



各画面の左下に  マークが表示されていると、視聴制限(ロック)がかかっています。

※システム設定によってはログアウト状態で、下の写真のように映像が見えている場合もあります。
この場合、画面切り替え等一部の簡単な操作は、システムログインをしなくても操作可能です。



3.2. システムログイン

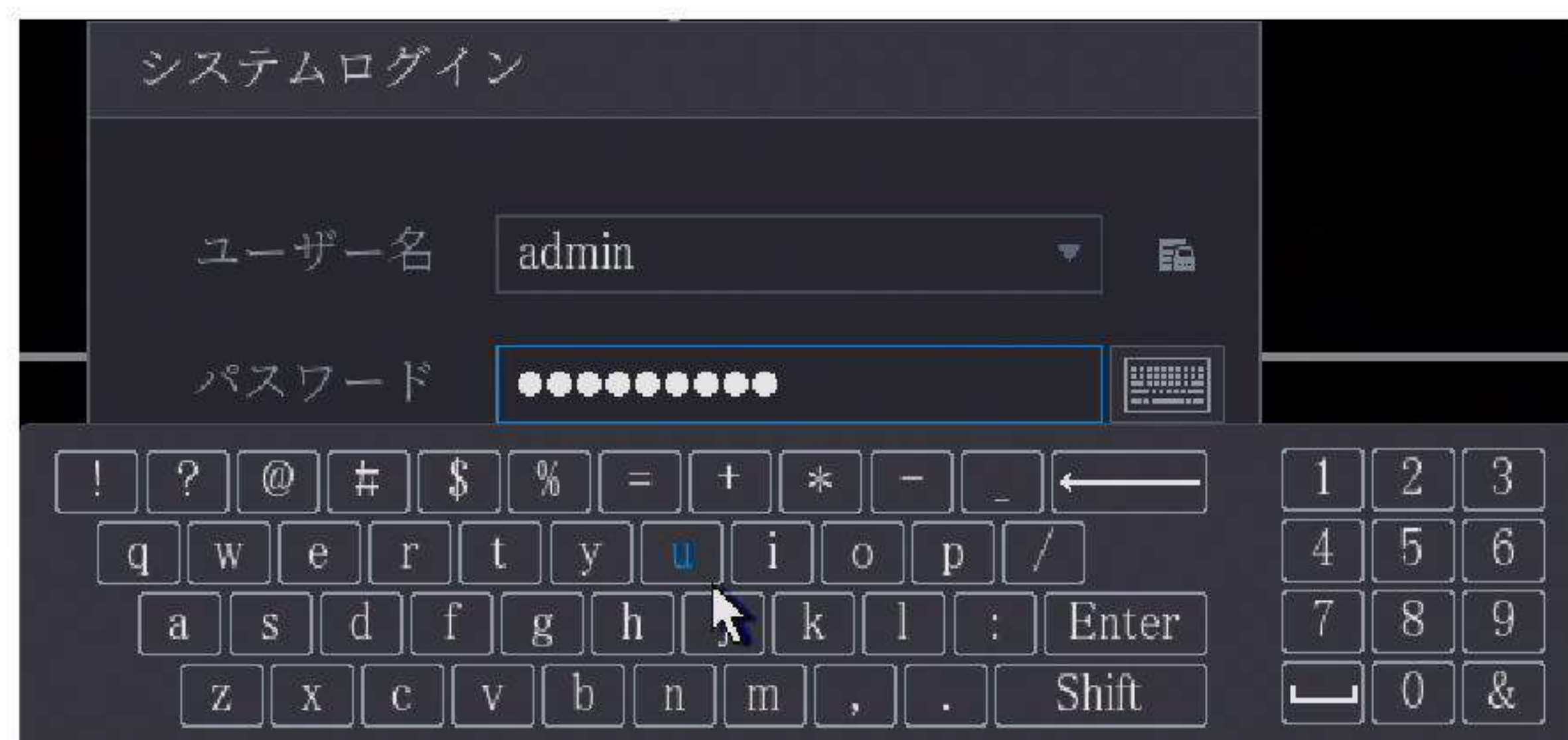
1) システムログインするには、ライブビューの画面上で右クリックし、「メインメニュー」をクリックします。



- 2) 『システムログイン』のポップアップメニューが表示されます。
『ユーザー名』のプルダウンメニューから 自分が使用するユーザー名を選択します。



- 3) 『パスワード』入力欄にマウスのポインターをあてクリックします。
ソフトウェアキーボードが表示されるので、マウスを使って 『パスワード』を入力します。



注: パスワード入力を規定回数以上間違えると、そのユーザーはロックされ 30 分間システムログインできなくなります。
<アカウントロック時の対応>

以下の①②のどちらかを実行して下さい。

- ① 30 分間待って、再度パスワードを入力
- ② レコーダの本体を再起動(本体の背面にある電源を ON/OFF。または電源コンセントを抜き差し)

- 4) パスワードの入力が完了したら、『OK』をクリックします。



- 5) ログインに成功すると、メインメニューが表示されます。



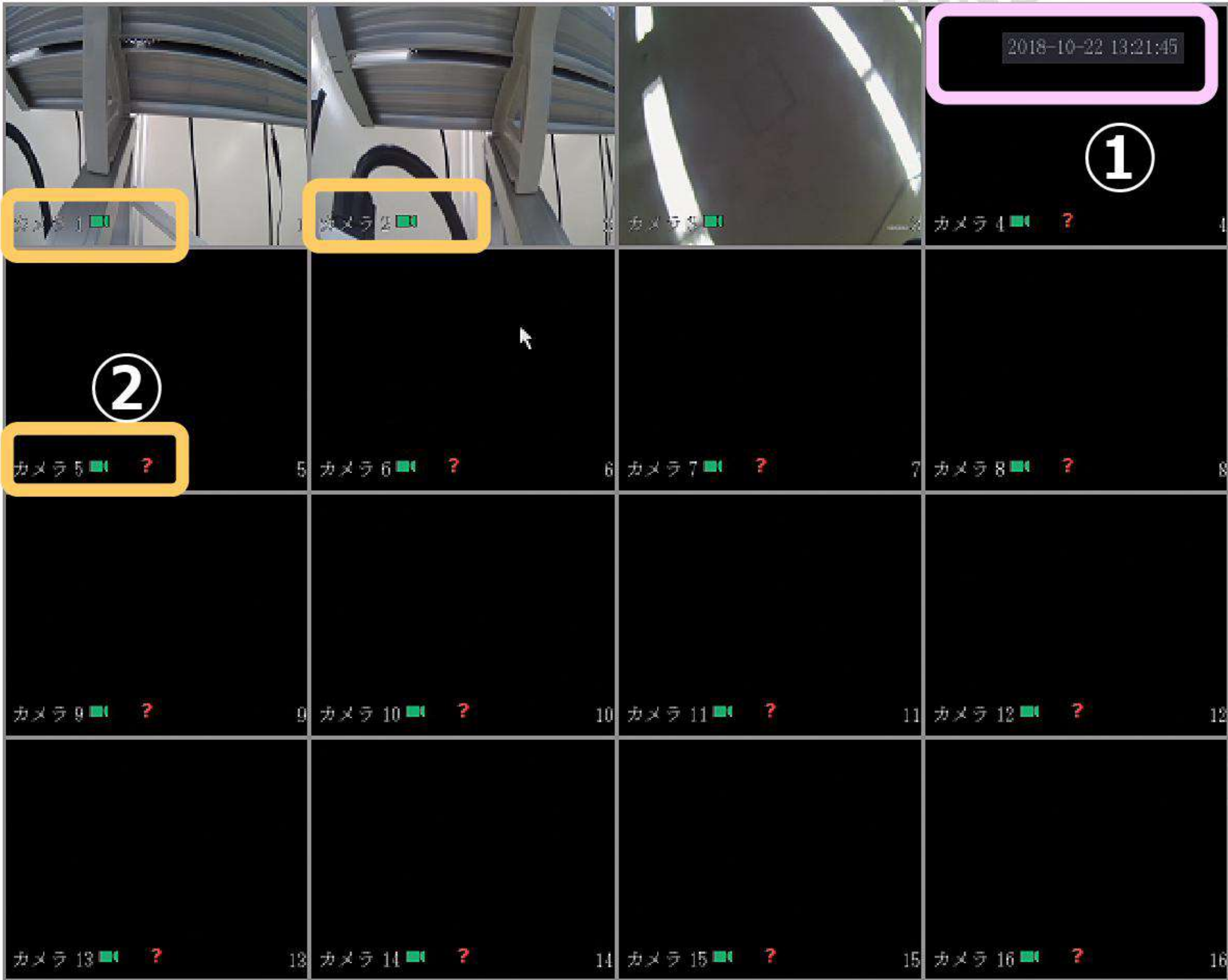
※ メインメニューを消去するには、マウスを右クリックします。

4. ライブ映像確認

本章では表示画面の説明・簡単な操作方法・画面の切り替えなどを説明します。

4.1. 表示画面説明

ログインすると、ライブ映像が表示されます。



- ① 画面右上にレコーダの時刻が表示されます。
- ② 各カメラ画面の左下に“カメラ名”とアイコンが表示されます。

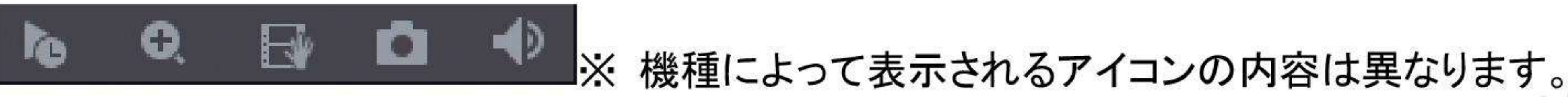
アイコン	内容
	映像データを記録している時に表示されます
	動きを検知した時に表示されます
	カメラからの入力がない時に表示されます
	カメラにロックがかかっている時に表示されます

- ③ 最大接続 CH よりも分割表示の方が多い場合（8ch のレコーダの 9 分割表示や 32ch のレコーダの 36 分割表示など）は、余った CH に各 CH の使用帯域が表示されます。

CH	Kb/S	CH	Kb/S
1	2060	5	2055
2	2223	6	53
3	1064	7	95
4	2056	8	96

4.2. デジタルズーム

各 CH の上部にカーソルを移動すると、プレビュー表示画面が表示されます。



※ 機種によって表示されるアイコンの内容は異なります。
ボタンをクリックし、ボタンの表示が、 に変わることを確認します。

拡大したい場所で、マウスをドラッグすると、緑色の選択枠が表示されます。ドラッグしながら枠の大きさを調整し、所望の選択枠になった時点でドラッグを停止すると、緑色の枠内がデジタルズームされます。



右クリックでズーム動作がキャンセルされ、ライブ映像画面に戻ります。
※ マウスホイール操作で、デジタルズームが出来る機種もあります。

4.3. PTZ 操作

ライブビューから、PTZ 操作を行う手順について説明します。
※PTZ、モータライズ、電動バリフォーカルのカメラのみ使用可となります。

4.3.1. PTZ 操作画面表示

画面上で右クリックを行い、“右クリックメニュー”を表示し、“パン/チルト/ズーム”をクリックします。



4.3.2. PTZ 操作

以下の画面が表示されます。



操作が終了したら、右クリックして画面を閉じて下さい。

No.	操作
1	PTZ カメラを移動させます。
2	カメラの移動速度を変更します。
3	ズームを実行します。
4	フォーカスを変更します。
5	アイリスを変更します。

4.4. 表示画面切り替え

4.4.1. 1画面化

1画面表示したいCH映像をダブルクリックすると、選択画面の1画面表示が出来ます。(後述の“画面分割モード”でも表示可能です。)

4.4.2. プレビュードラッグ（ライブ画面の位置入れ替え）

移動させたいCH上で、マウスを左クリックしたまま、移動させたいCHまでドラッグし、マウス左ボタンを離すと、CHの場所を入れ替えることが出来ます。

4.4.3. 画面分割モード

画面上で右クリックを行い、“右クリックメニュー”を表示させます。



分割モードの選択は、下表のようになります。

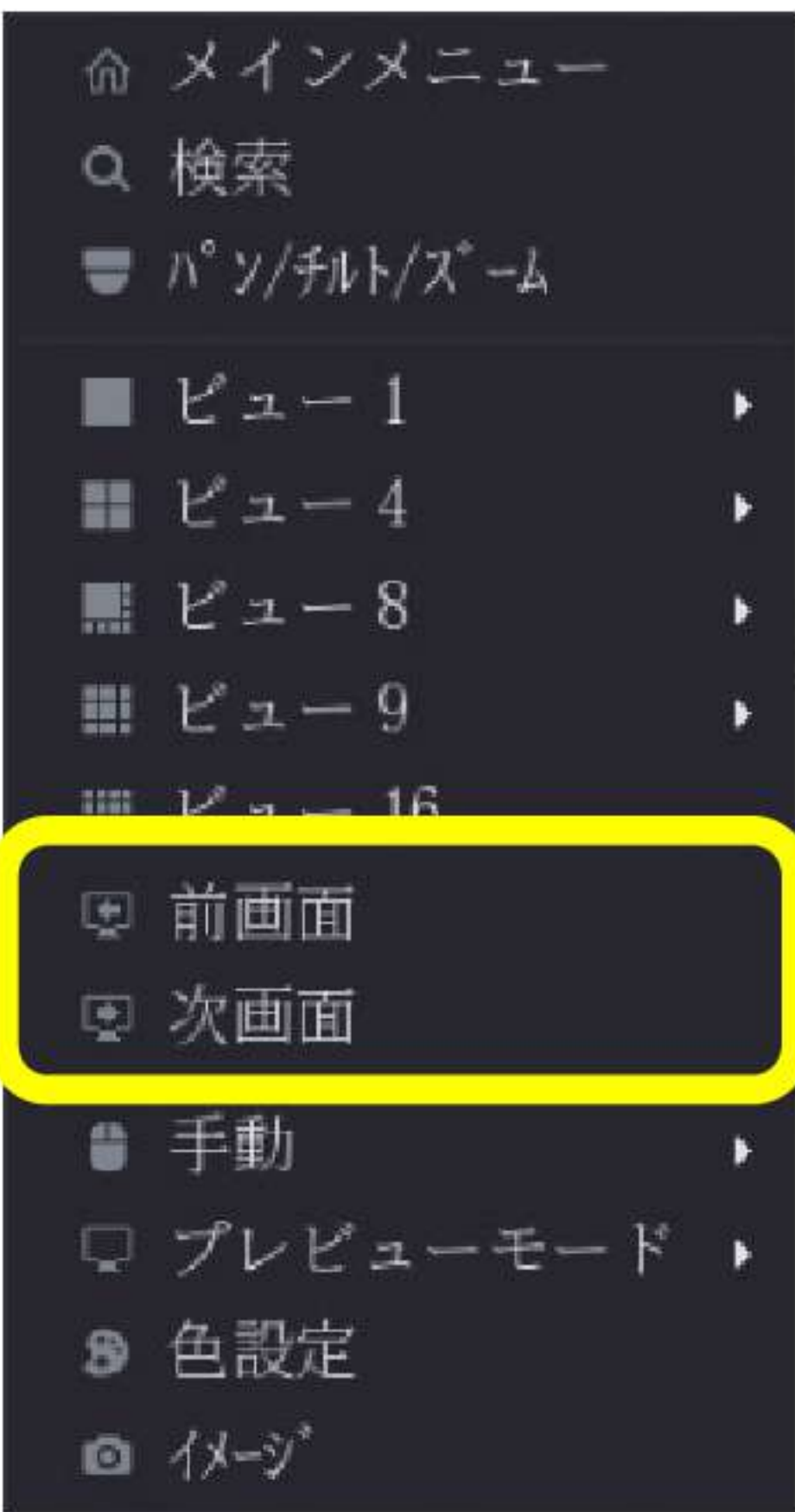
ビュー1	1画表示をします。1ch～64ch から選択します
ビュー4	4分割表示をします。1ch～4ch、5ch～8ch、・・・、58ch～64ch から選択します。
ビュー8	8分割表示をします。1ch～8ch、9ch～16ch、・・・、53ch～64ch から選択します。
ビュー9	9分割表示をします。1ch～9ch、8ch～16ch、・・・、56ch～64ch から選択します。
ビュー16	16分割表示をします。1ch～16ch、17ch～32ch、・・・、49ch～64ch から選択します。
ビュー25	25分割表示をします。1ch～25ch、8ch～32ch、33ch～57ch、40ch～64ch から選択します。
ビュー36	36分割表示をします。1ch～36ch、33ch～64ch から選択します。

※ 表は 64ch 入力レコーダのものです。ご使用のレコーダ入力のチャンネル数によって 最大チャンネルの数字は変わります。

4.4.4. 前画面／次画面

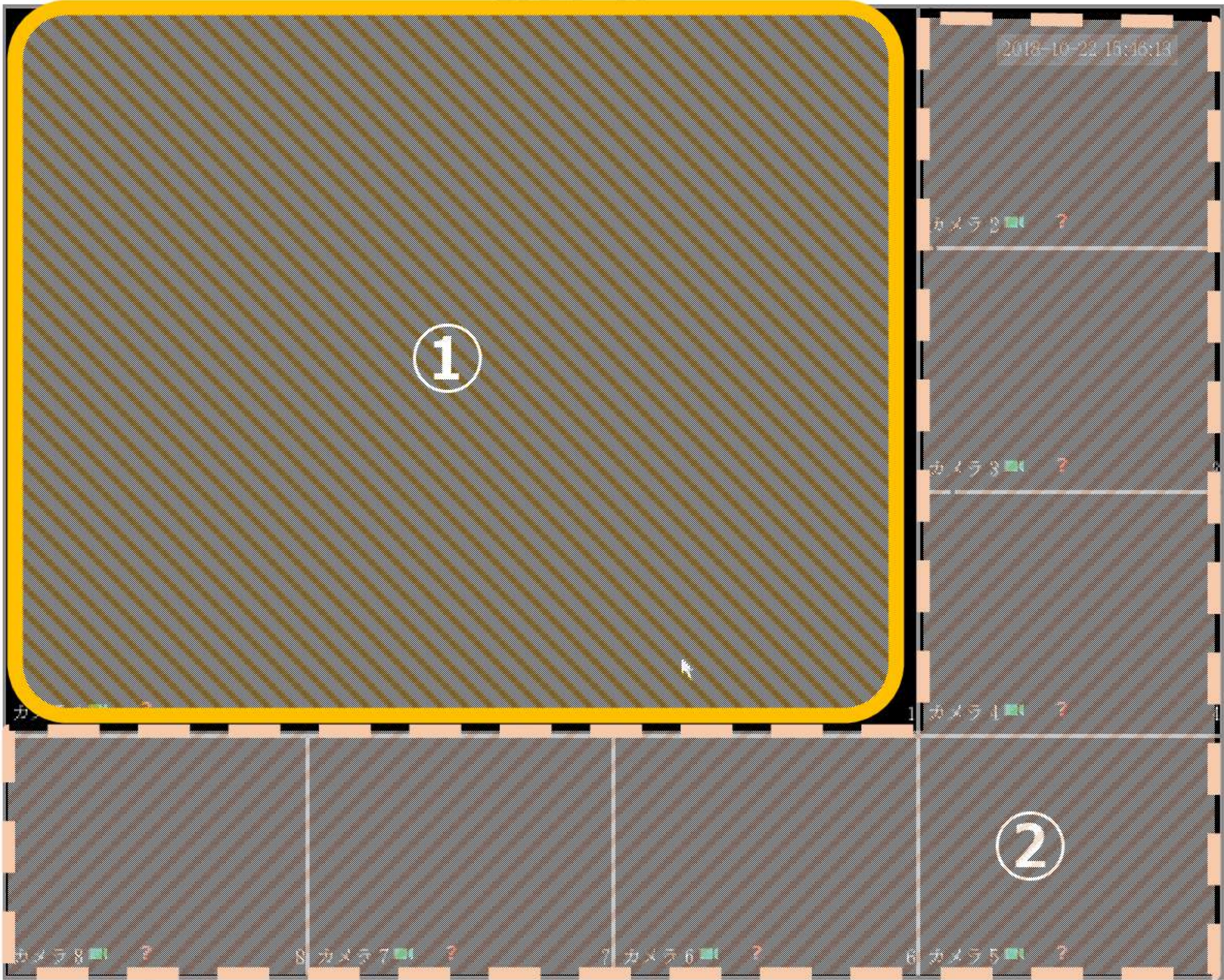
前画面／次画面メニューを使うことによって、マルチ表示画面を簡単に切り替えることができます。

画面表示は、下表のように切り替わります。

	ビュー1	前画面 : ch1→ch64→.....→ch2→ ↑ 次画面 : ch1→ch2→.....→ch64→ ↑
	ビュー4	前画面 : ch1～ch4 → ch61～ch64 →.....→ ch5～ch8 → ↑ 次画面 : ch1～ch4 → ch5～ch8 →.....→ ch61～ch64 → ↑
	ビュー9	前画面 : ch1～ch9 → ch56～ch64 →.....→ ch17～ch25 → ch8～ch16 → ↑ 次画面 : ch1～ch9 → ch8～ch16 →.....→ch49～ch57 → ch56～ch64 → ↑
	ビュー16	前画面 : ch1～ch16 → ch49～ch64 → ch33～ch48 → ch17～ch32 → ↑ 次画面 : ch1～ch16 → ch17～ch32 → ch33～ch48 → ch49～ch64 → ↑
	ビュー25	前画面 : ch1～ch25 → ch40～ch64 → ch33～ch57 → ch8～ch32 → ↑ 次画面 : ch1～ch25 → ch8～ch32 → ch33～ch57 → ch40～ch64 → ↑
	ビュー32	前画面 : ch1～ch32 → ch33～ch64 → ↑ 次画面 : ch1～ch32 → ch33～ch64 → ↑

※ 表は 64ch 入力レコーダのものです。ご使用のレコーダ入力のチャンネル数によって 最大チャンネルの数字は変わります。

○ ビュー8 は動作が異なり、前画面／次画面メニューで、主画面の切り替えを行います。



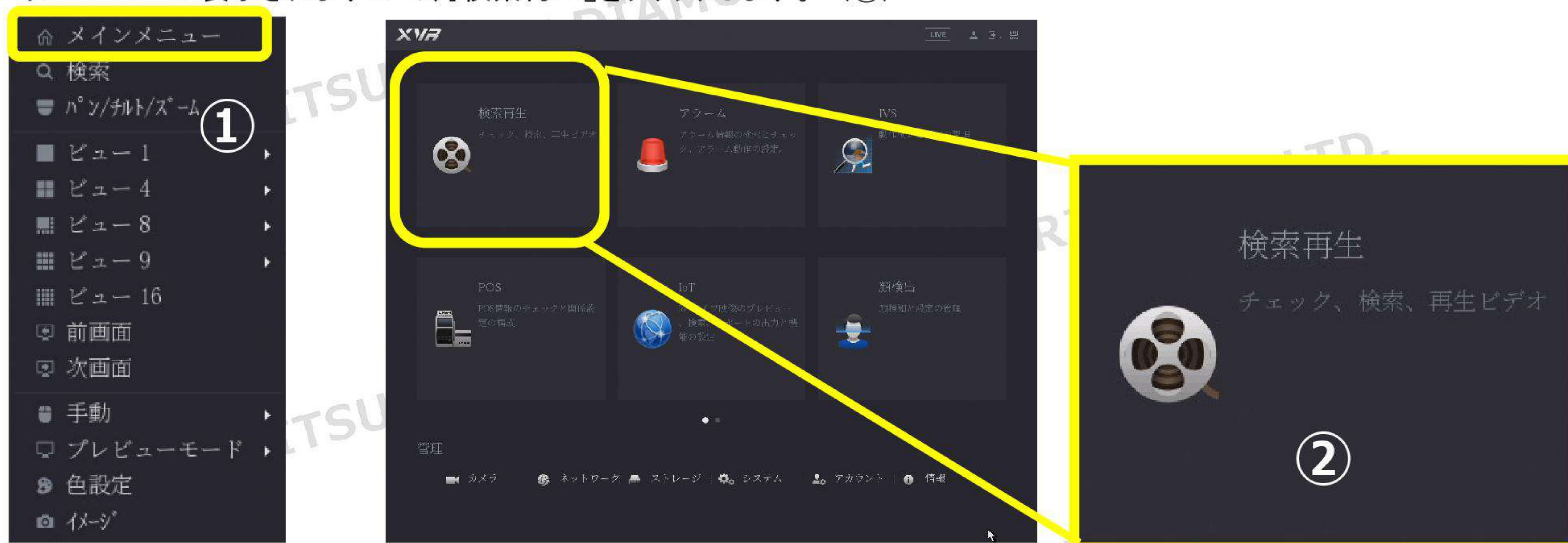
- ・ 8ch 表示は、1つの主画面(枠①)と7つの副画面(枠②)で構成されています。
- ・ 例えば 1ch～8ch 表示時、主画面は ch1、副画面は ch2～ch8 が表示されます。
- ・ 前画面／次画面を操作すれば、主画面が ch1→ch2→...→ch8 に切り替わり、残りの ch を副画面に表示します。

5. 記録映像検索・再生

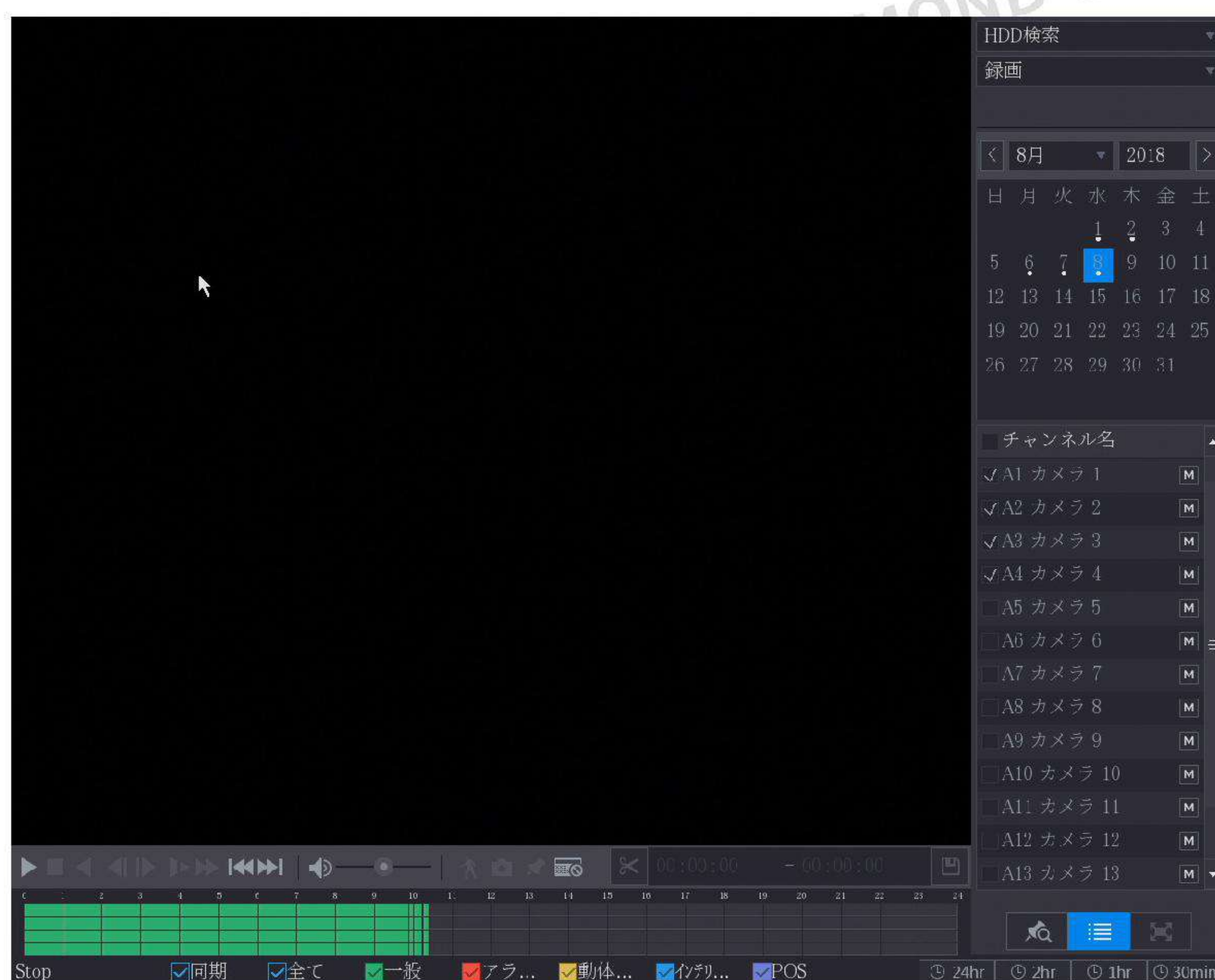
本章では、記録映像の検索・再生の各種操作を説明します。

5.1. 記録映像検索

- 画面上で右クリックを行い、ポップアップメニューの『メインメニュー』をクリックします。(①)
メインメニューが表示されますので、『検索再生』をクリックします。(②)



- 『検索』をクリックすると、下の検索画面が表示されます。



- 表示カメラ選択します。
再生するチャンネルとストリームをクリックで選択し、再生します。



但し、選択したチャンネルの順番に、再生表示画面の1チャンネルから表示されます。(カメラ4→カメラ3→カメラ2→カメラ1の順に選択した場合、画面1にカメラ4、画面2にカメラ3、画面3にカメラ2、画面4にカメラ1の録画映像が表示されます。)
また、サブストリームは録画の設定を行っていない場合、時間(緑色のバー)はタイムバーに表示されません。

再生する分割画面数は、選択したチャンネル数で自動的に変更されます。

再生分割表示数	チャンネル選択数
1 画面表示	1 チャンネルのみ選択
4 画面表示	2～4 チャンネル選択
9 画面表示	5～9 チャンネル選択
16 画面表示	10～16 チャンネル選択

※再生は最大 16 チャンネルまでの指定になります。

4) 表示する日時を指定します。

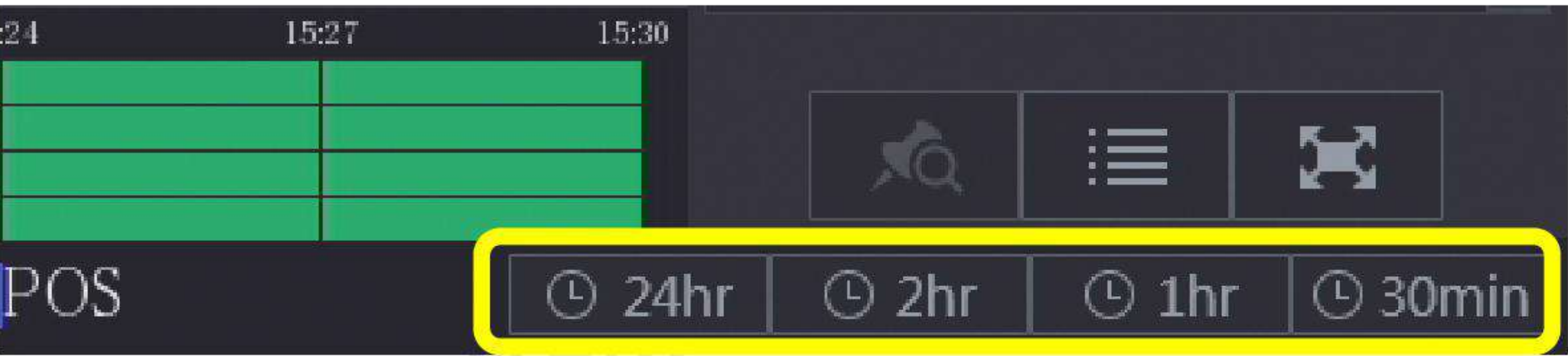


例えば 2018 年 10 月 22 日 14:32 のデータを再生するには

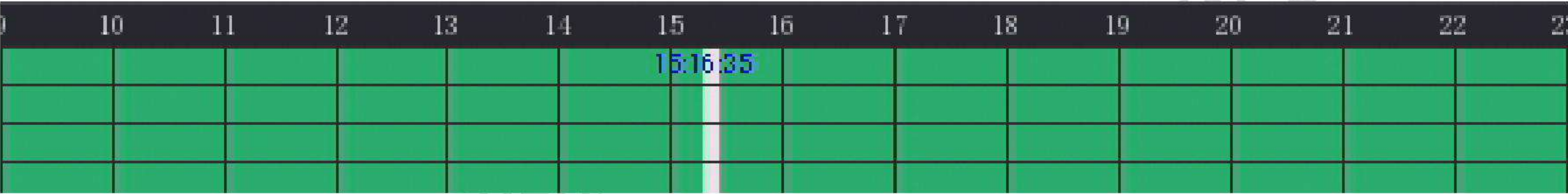
- ① : カレンダー上で、表示する年月日を選択します。
- ② : タイムバー上で、表示する時間をクリックします。

5) タイムバーで正確な時間指定を行うには、タイムバーユニットを使用して時間軸をズームします。

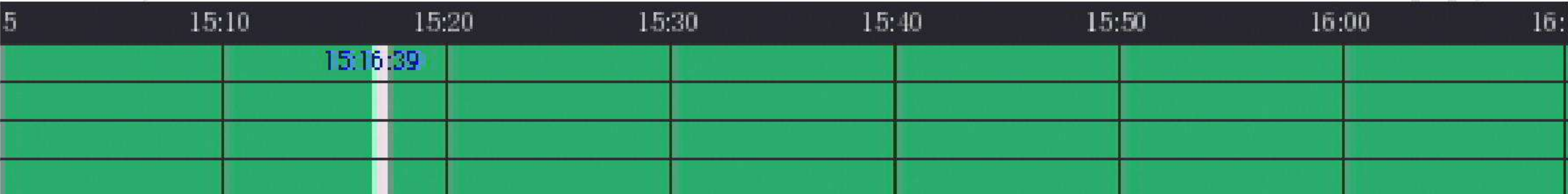
24 時間 / 2 時間 / 1 時間 / 30 分 から選択します。(注:タイムバーの切り替えは再生中のみ可能です)



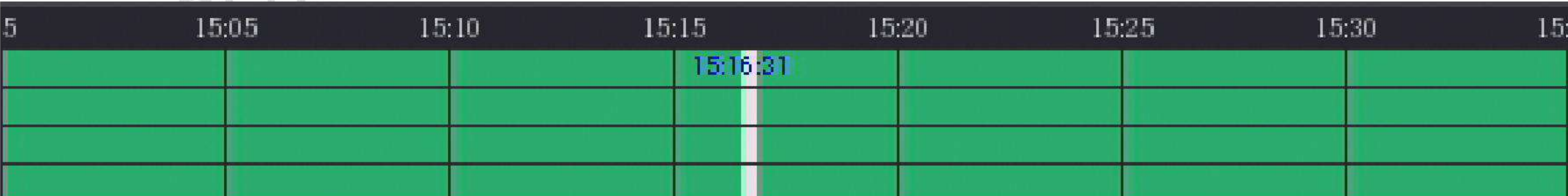
① 24hr 選択時 : バーの時刻表示は 1 時間単位です。



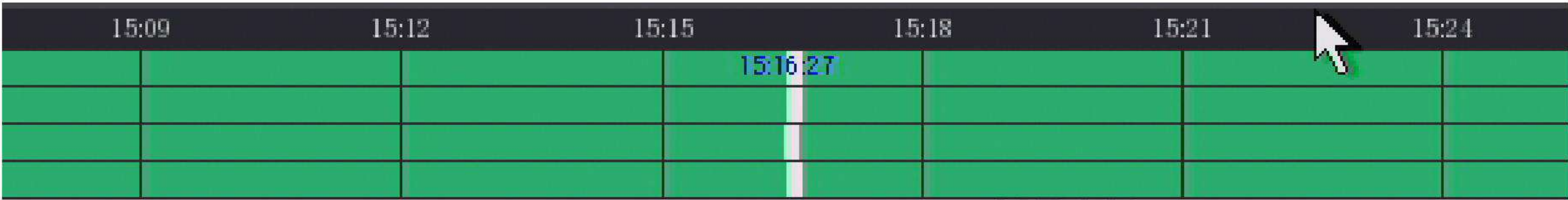
② 2hr 選択時 : バーの時刻表示は 10 分単位です。



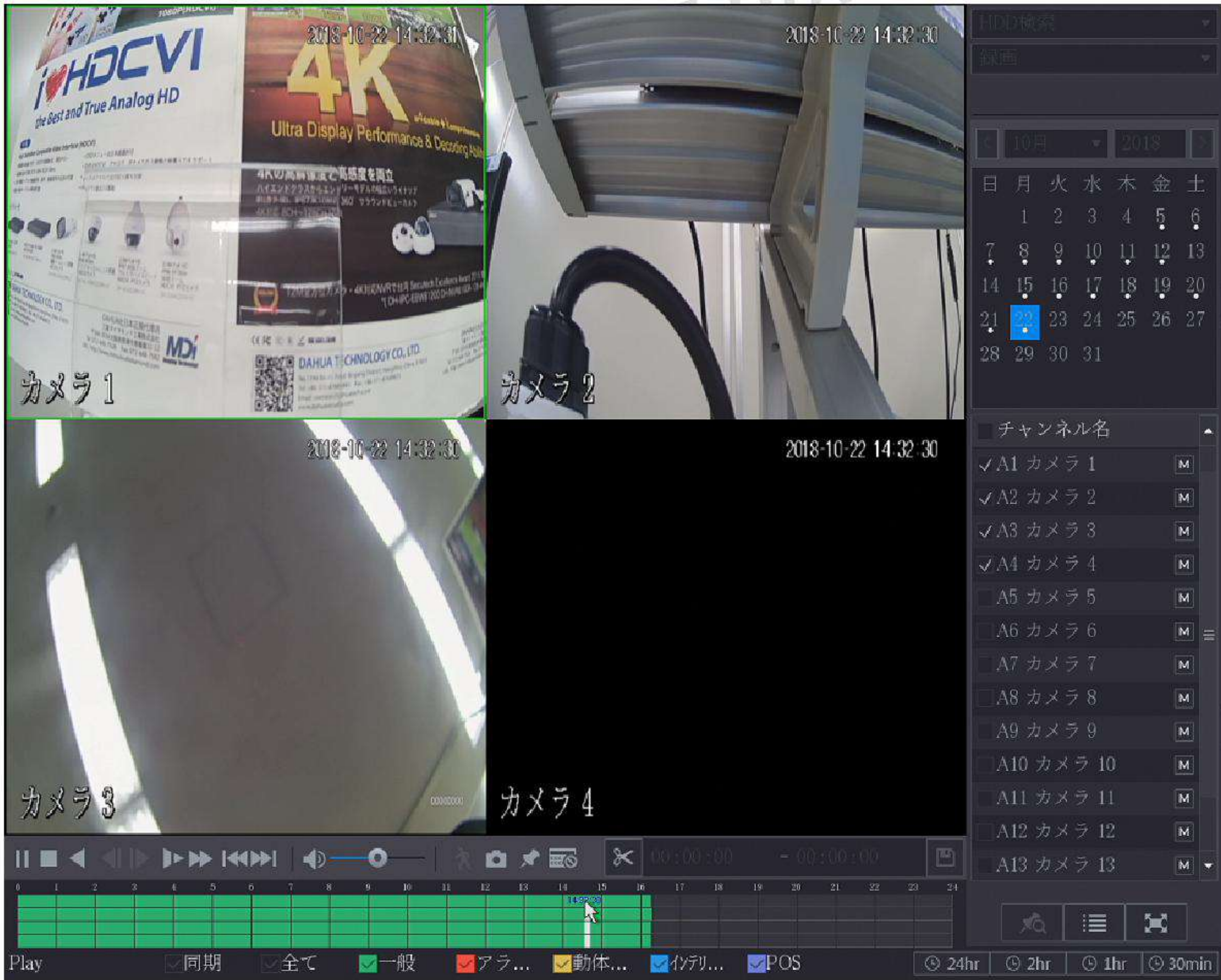
③ 1hr 選択時 : バーの時刻表示は 5 分単位です。



④ 30min 選択時：バーの時刻表示は3分単位です。



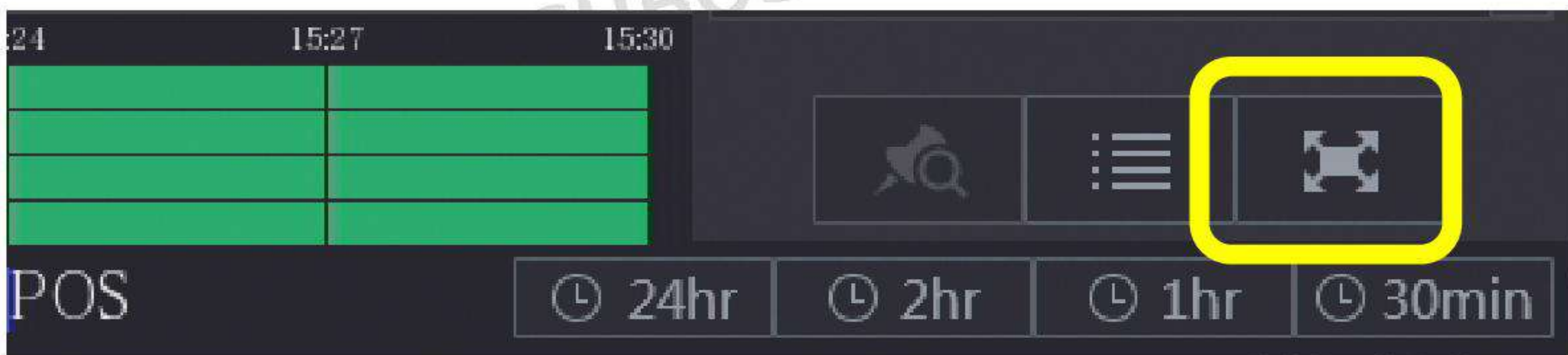
6) 設定が完了すると 再生が開始します。



5.2. 再生画面操作

5.2.1. 全画面表示

『全画面』ボタンをクリックすると、全画面表示が出来ます。



5.2.2. 1画面表示

1 画面表示をしたい画像上で、マウスをダブルクリックすると 1 画面表示が出来ます。

1 画面表示後、拡大したい場所で、マウスをドラッグすると 緑色の選択枠が表示されます。ドラッグしながら枠の大きさを調整し、所望の選択枠になった時点でドラッグを停止すると、緑色の枠内がデジタルズームされます。



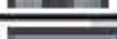






1) 停止中



2) 再生中



	アイコン	名称	動作
①		一時停止	検索再生を一時停止します。
②		停止	検索再生を停止します。
③		逆再生	逆再生をします。
④		スロー再生	1/2 倍速→1/4 倍速→1/8 倍速→1/16 倍速の順にスロー再生をします。
⑤		高速再生	等倍速、2 倍速、4 倍速、8 倍速、16 倍速の順に速度を変更します。
⑥		前日	録画検索の日付を前日に変更します。(検索再生は停止します)
⑦		翌日	録画検索の日付を翌日に変更します。(検索再生は停止します)

3) 一時停止中



① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦

	アイコン	名称	動作
①		再生	再生を再開します。
②		停止	検索再生を停止します。
③		逆再生	逆再生をします。
④		前フレーム	前のフレームのコマ送りをします。
⑤		次フレーム	次のフレームのコマ送りをします。
⑥		前日	録画検索の日付を前日に変更します。(検索再生は停止します)
⑦		翌日	録画検索の日付を翌日に変更します。(検索再生は停止します)

5.3. 再生日時変更

再生日時を変更するには、『停止』(①)をクリックし、再生が停止し黒画面表示の状態で日付を変更する。もしくは、『前日』/『翌日』をクリックして日付を変更します。その後、時間を選択して、検索再生を行ってください。



5.4. 検索モード終了

検索再生を停止させます。停止後、黒画面表示の状態でマウスを右クリックして下さい。メインメニューの画面に戻ります。

6. 記録データバックアップ

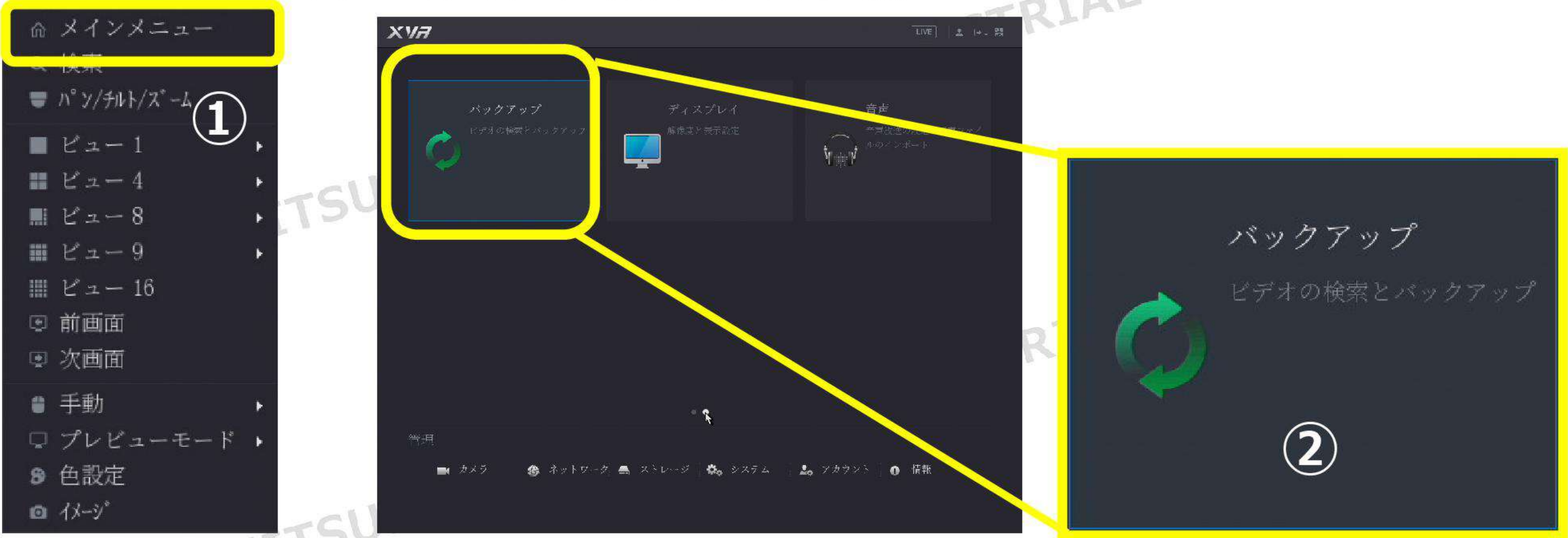
本章では、記録データの USB デバイスへのバックアップ方法を説明します。

6.1. バックアップ画面表示

- 1) USB メモリを本体に挿入すると、USB デバイスの画面が表示されますので、右クリックで画面を消去してください。
※USB デバイスの画面の『ファイルバックアップ』をクリックしても、バックアップ画面が表示されますが、ここでは、メインメニューからの手順を説明いたします。

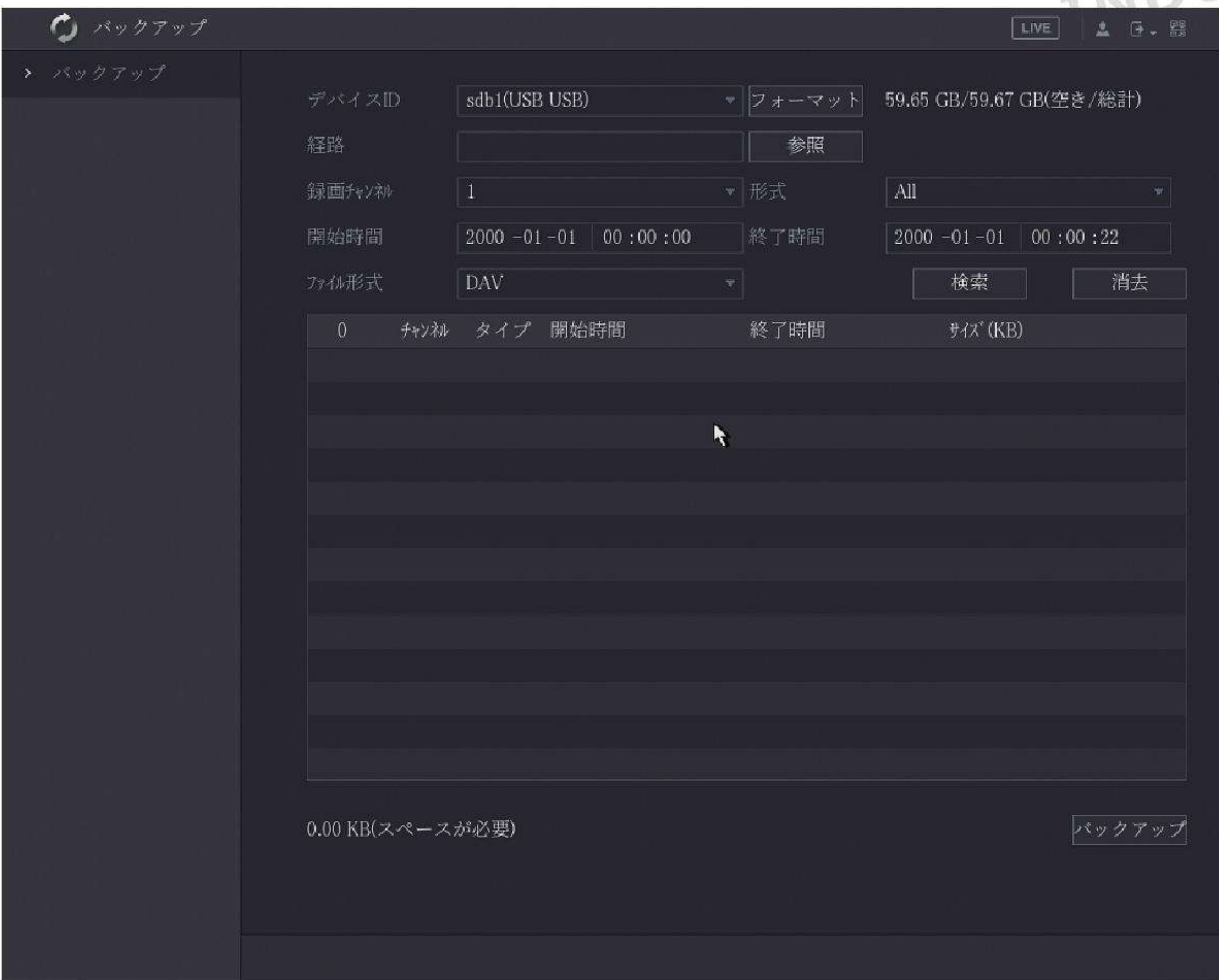


- 2) 画面上で右クリックを行い、ポップアップメニューの『メインメニュー』をクリックします。(①)
メインメニューが表示されますので、『バックアップ』をクリックします。(②)



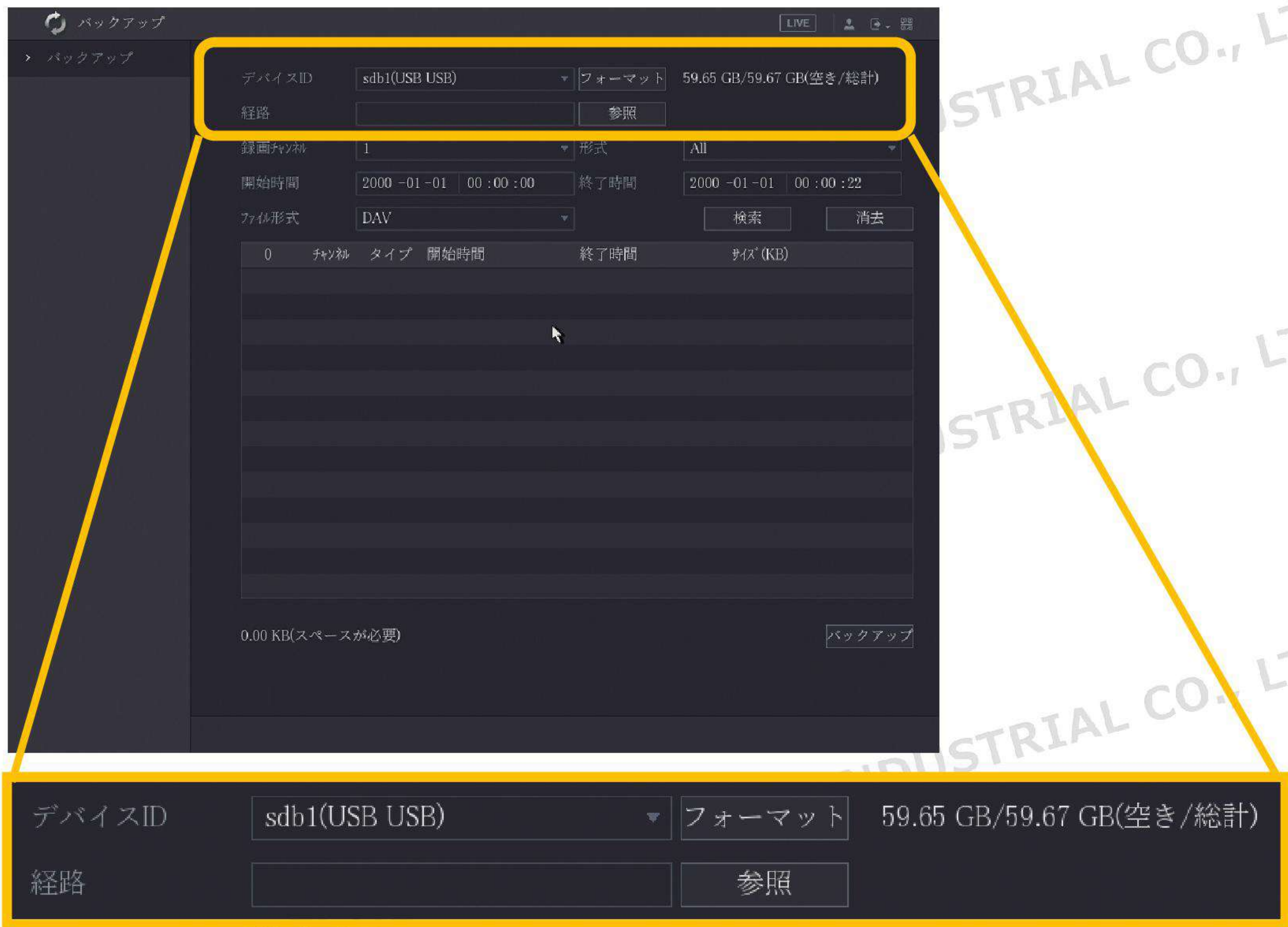
※『バックアップ』が無い場合、中央の下段にある  のグレー側の  クリックし、画面を切り替えてください。

- 3) バックアップ画面が表示されます。



6.2. バックアップデバイスの確認

2) バックアップ用 USB デバイスの、デバイス ID、空き容量などが表示されていることを確認します。



6.3. バックアップの設定

1) バックアップ設定画面で、次の 4 項目を設定します。



	項目	処理
①	録画チャンネル	バックアップする録画チャンネルを設定します。
②	形式	記録ファイルのうちバックアップしたいイベントのファイルを選択します。 ※イベントの設定、ならびに録画スケジュールにてイベントの録画設定を行っていない場合は検索されません。
③	開始時間/終了時間	バックアップするファイルの開始時間と終了時間を設定します。
④	ファイル形式	再生ソフトに応じて、バックアップする際のファイル形式を指定します。 ・Dahua 製 SmartPlayer → DAV を選択 ・Windows Media Player → MP4 を選択

注: SmartPlayer はバックアップ時に USB にインストールされます。インストールされない場合は、下記弊社 HP からダウンロードをお願いします。

https://www.mitsuboshidiamond.com/it/?s=&post_type=docss&docsscategory=&docssfunc1=docssfncsoftdl

2) 設定が完了したら『検索』をクリックします。

デバイスID

sdb1(USB USB)

フォーマット

59.65 GB/59.67 GB(空き/総計)

経路

参照

録画チャンネル

1

形式

All

開始時間

2000 -01 -01 00 :00 :00

終了時間

2000 -01 -01 00 :00 :22

ファイル形式

DAV

検索

消去

3) 検索が完了すると、検索条件に一致するファイル(①)が表示されます。必要な容量(②)および残容量(③)は、システムにより自動的に計算されます。

バックアップ

LIVE

バックアップ

デバイスID

sdb1(USB USB)

フォーマット

59.65 GB/59.67 GB(空き/総計)

経路

参照

録画チャンネル

1

形式

All

開始時間

2018 -10 -23 00 :00 :00

終了時間

2018 -10 -24 00 :00 :00

ファイル形式

DAV

検索

消去

①

11	チャンネル	タイプ	開始時間	終了時間	サイズ (KB)
1	✓ 1	R	18-10-23 00:00:00	18-10-23 01:00:00	60800
2	✓ 1	R	18-10-23 01:00:00	18-10-23 02:00:00	58880
3	✓ 1	R	18-10-23 02:00:00	18-10-23 03:00:00	59776
4	✓ 1	R	18-10-23 03:00:00	18-10-23 04:00:00	59776
5	✓ 1	R	18-10-23 04:00:00	18-10-23 05:00:00	59776
6	✓ 1	R	18-10-23 05:00:00	18-10-23 06:00:00	60288
7	✓ 1	R	18-10-23 06:00:00	18-10-23 07:00:00	60928
8	✓ 1	R	18-10-23 07:00:00	18-10-23 08:00:00	59776
9	✓ 1	R	18-10-23 08:00:00	18-10-23 08:43:26	45056
10	✓ 1	R	18-10-23 08:43:23	18-10-23 10:00:00	77184
11	✓ 1	R	18-10-23 10:00:00	18-10-23 10:46:01	42531

631.38 MB(スペースが必要)

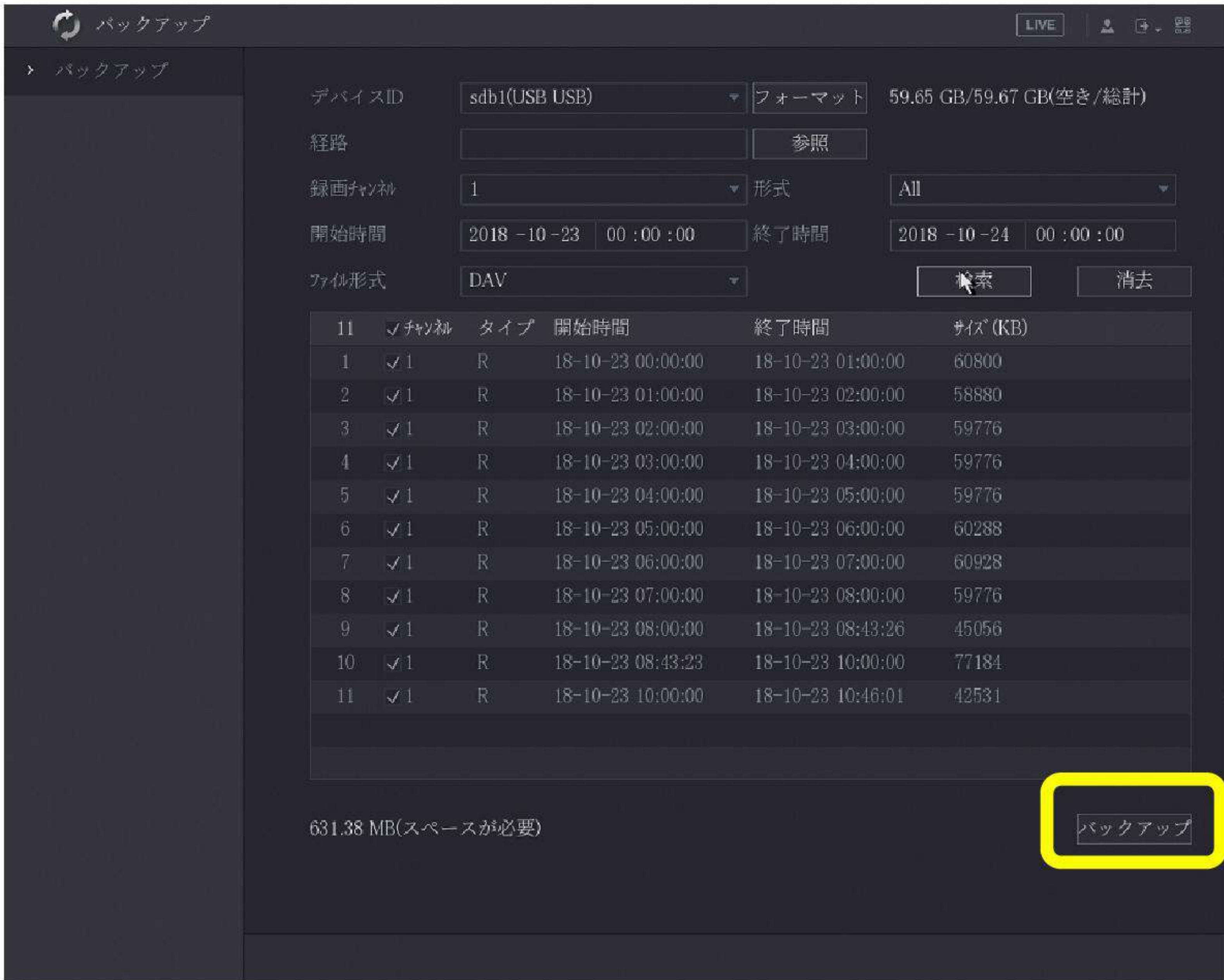
②

バックアップ

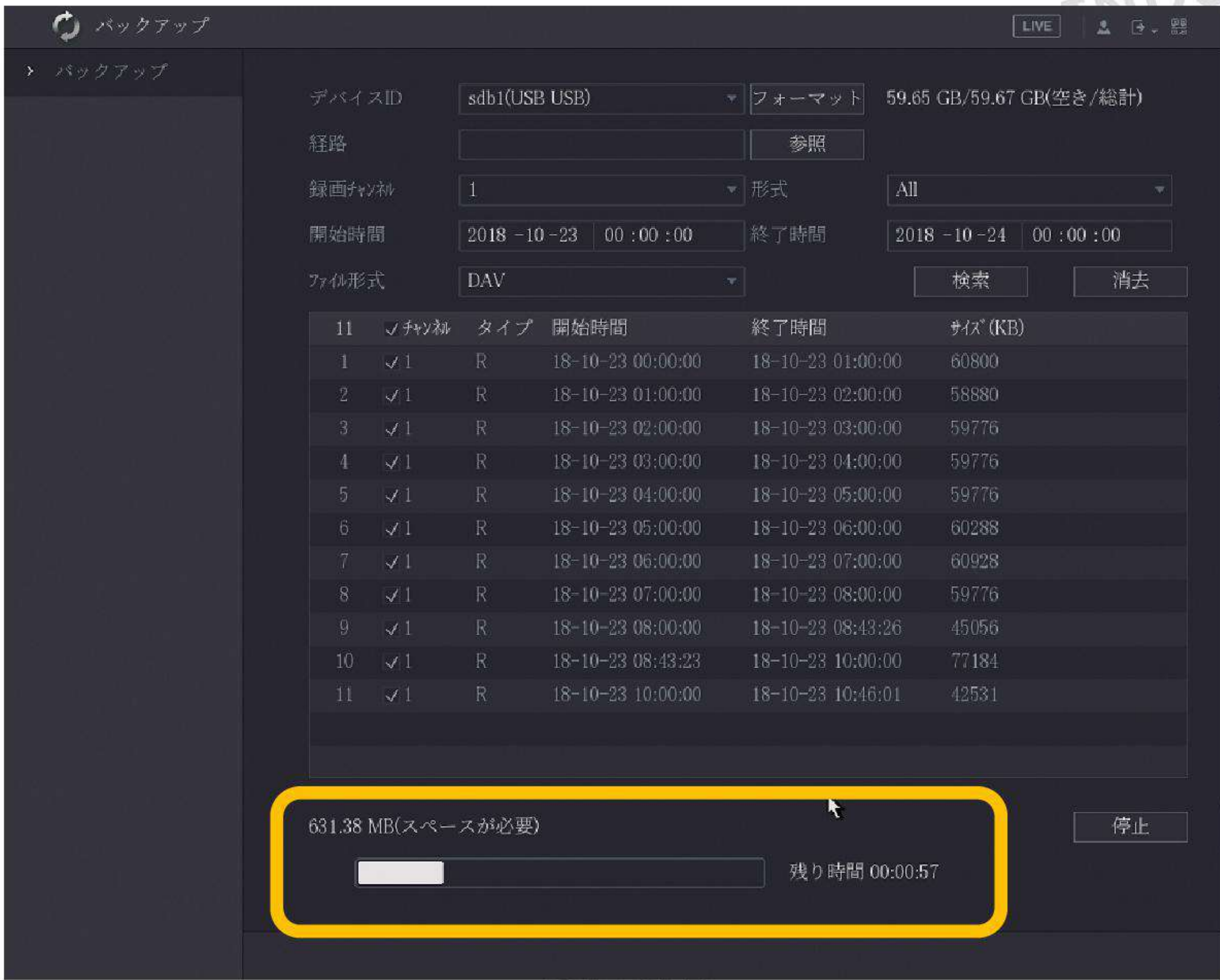
4) 全てのファイルに☒チェックが入っていますので、バックアップの対象でないファイルの☒を外し、バックアップの対象ファイルのみ☒を入れてください。

11	チャンネル	タイプ	開始時間	終了時間	サイズ (KB)
1	<input type="checkbox"/> 1	R	18-10-23 00:00:00	18-10-23 01:00:00	60800
2	<input checked="" type="checkbox"/> 1	R	18-10-23 01:00:00	18-10-23 02:00:00	58880
3	<input type="checkbox"/> 1	R	18-10-23 02:00:00	18-10-23 03:00:00	59776
4	<input type="checkbox"/> 1	R	18-10-23 03:00:00	18-10-23 04:00:00	59776
5	<input type="checkbox"/> 1	R	18-10-23 04:00:00	18-10-23 05:00:00	59776
6	<input type="checkbox"/> 1	R	18-10-23 05:00:00	18-10-23 06:00:00	60288

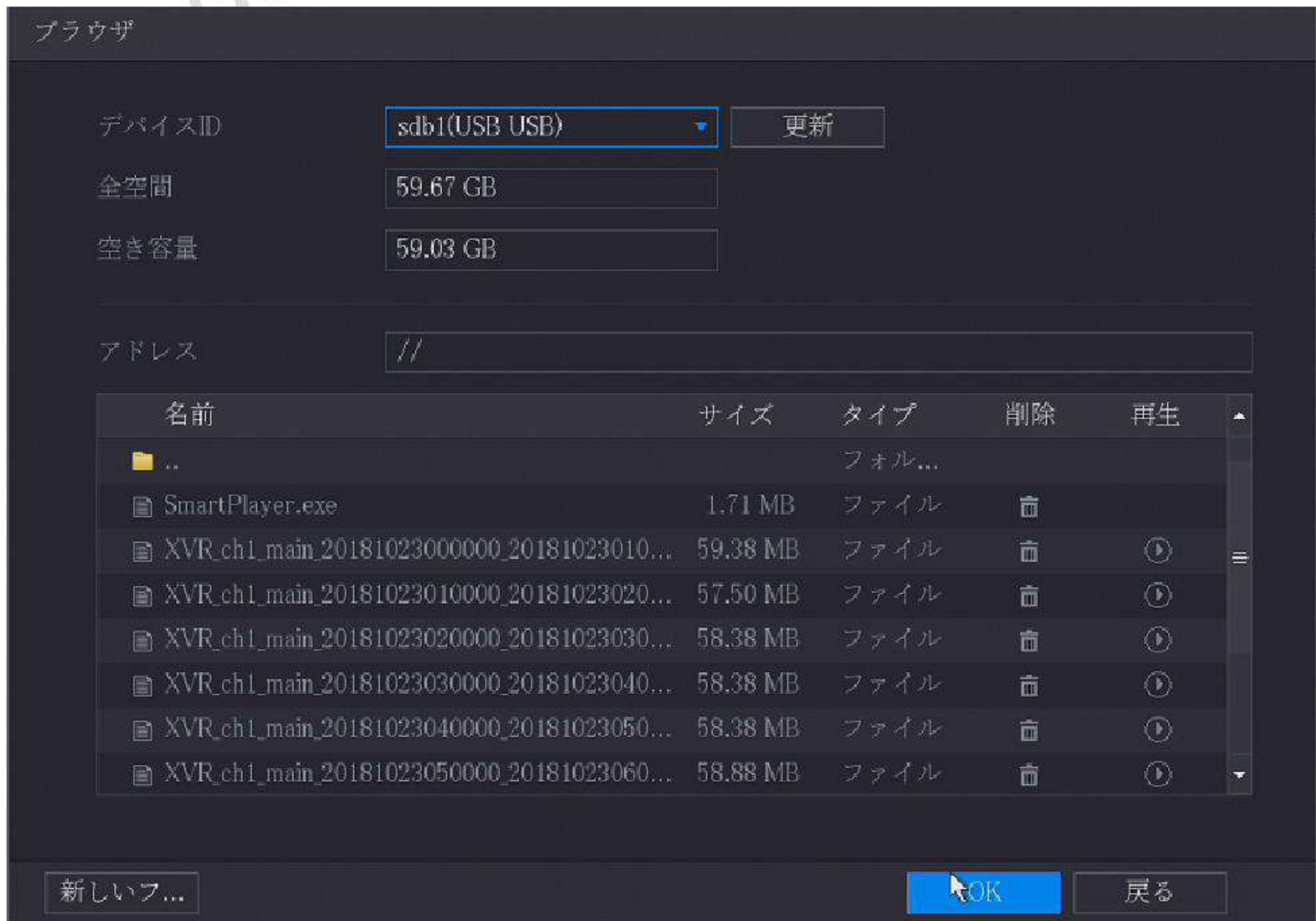
5) ファイルの選択が完了したら、『バックアップ』ボタンをクリックします。



6) プログレスバーが表示され、バックアップを開始します。




7) バックアップが完了すると、USB デバイス内のファイルが表示されます。



7. ログアウト

本章では、ログアウトの手順を説明します。

セキュリティの観点から、レコーダ御使用の後には、必ずログアウトされる事を推奨します。

- 1) メインメニューを呼び出し、右上にあるのアイコンをクリックします。



- 2) シャットダウンメニューが表示されますので、『ログアウト』をクリックするとログアウトします。



注：設定時間以上、画面操作を実施しなければ、自動的にログアウトします。操作が必要な場合は、再度システムログインを行ってください。

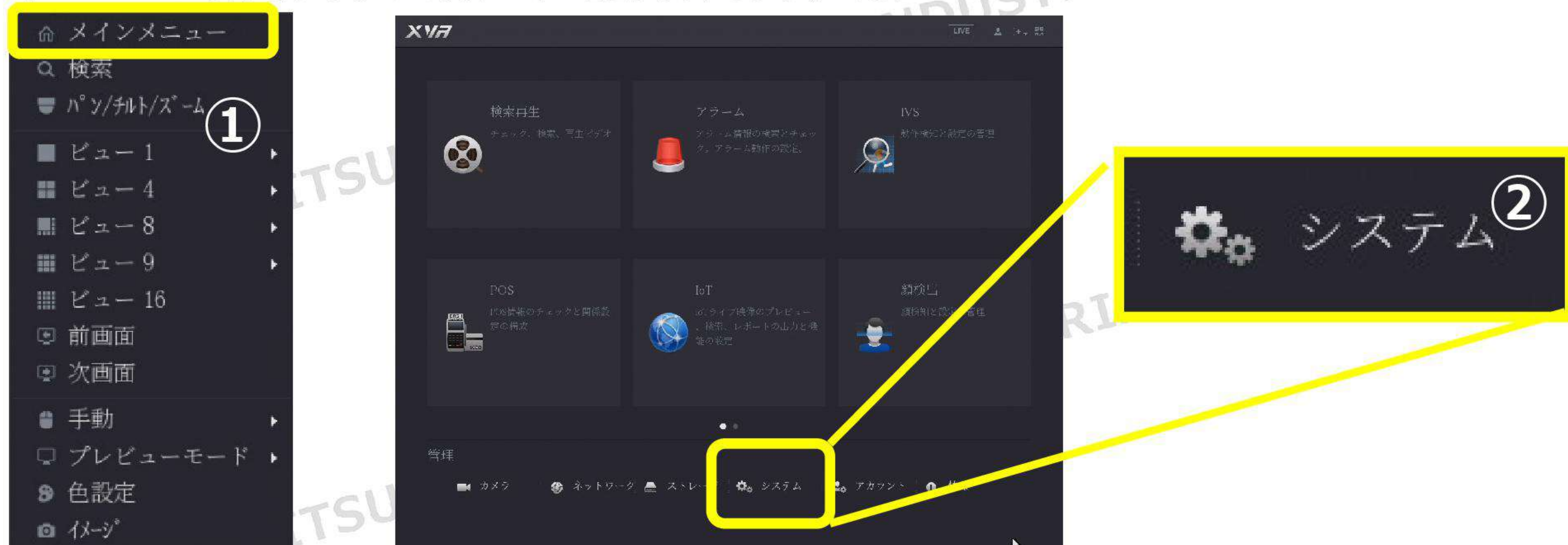
【補足】シャットダウンメニューからは、ログアウト動作以外に、① 再起動動作と② シャットダウン動作が可能です。但し、再起動とシャットダウンは、クリックすると即時動作に入ります。ご注意ください。



8. 補足

8.1. 日付時刻の修正方法

- 1) 画面上で右クリックを行い、ポップアップメニューの『メインメニュー』をクリックします。(①)
メインメニューが表示されますので、『システム』をクリックします。(②)



- 2) システム設定のメニューで、①『基本設定』をクリックし、②『日付時刻』タブをクリックします。



3) 『日付時刻』 タブメニューのシステム時刻の入力欄にマウスのポインターをあてクリックします。



①システム時間確認

システム時刻が表示されている入力欄にマウスのポインターをあてクリックします。

ソフトウェアキーボードが表示されます。

マウスのカーソルを、ソフトウェアキーボードの数字キーに動かし、数字キーをクリックして、システム時刻を設定します。



注 1 : 年を設定する場合は年、分を設定する場合は分が表示されている部分を、クリックして下さい。

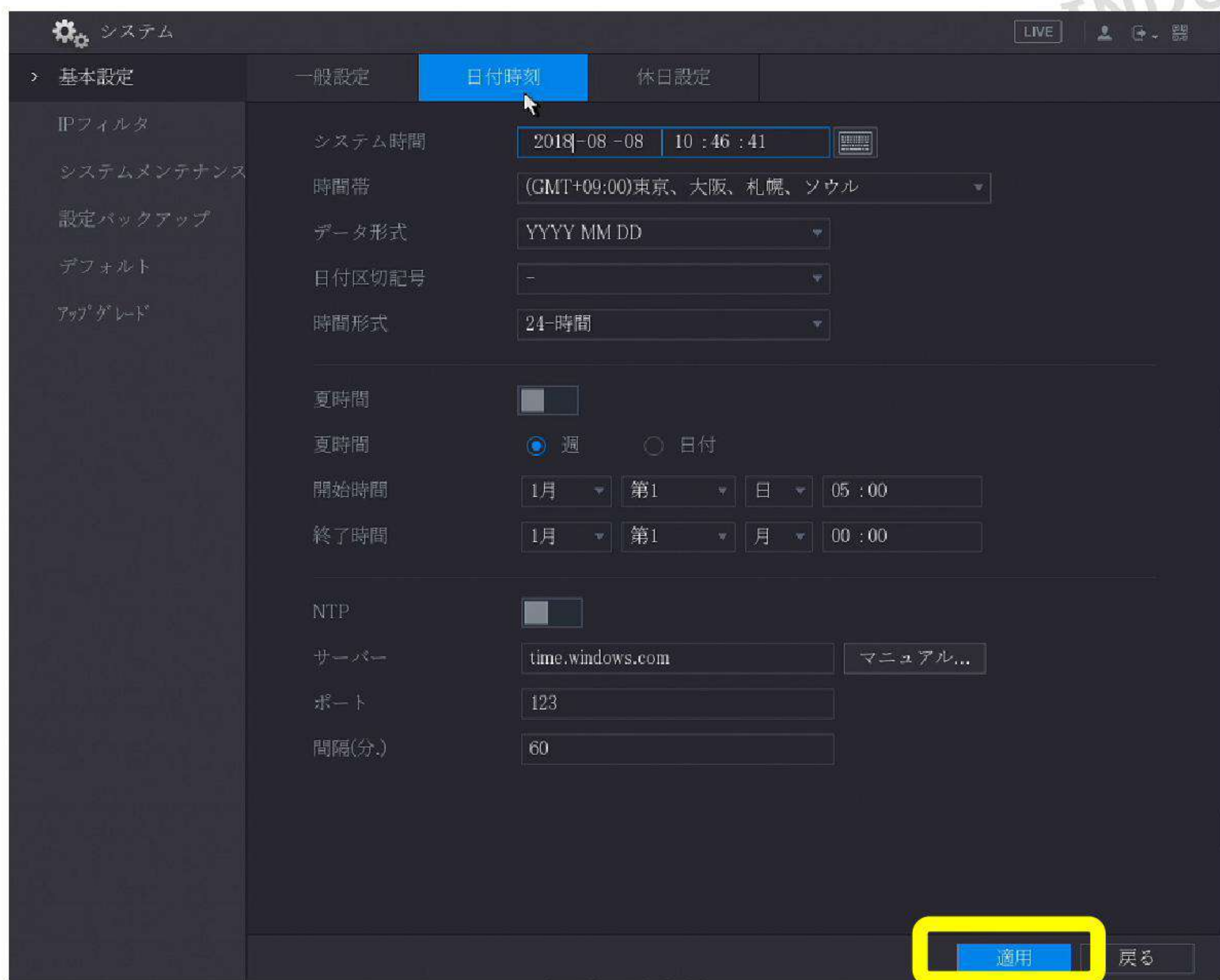
注 2 : 時間は 00~23、分は 00~59、秒は 00~59 が入力可能です。

これを超える数字を入力すると、時間は 23、分は 59、秒は 59 が表示されます。24:00 を超える設定をした場合は、分は 00 が表示されます。

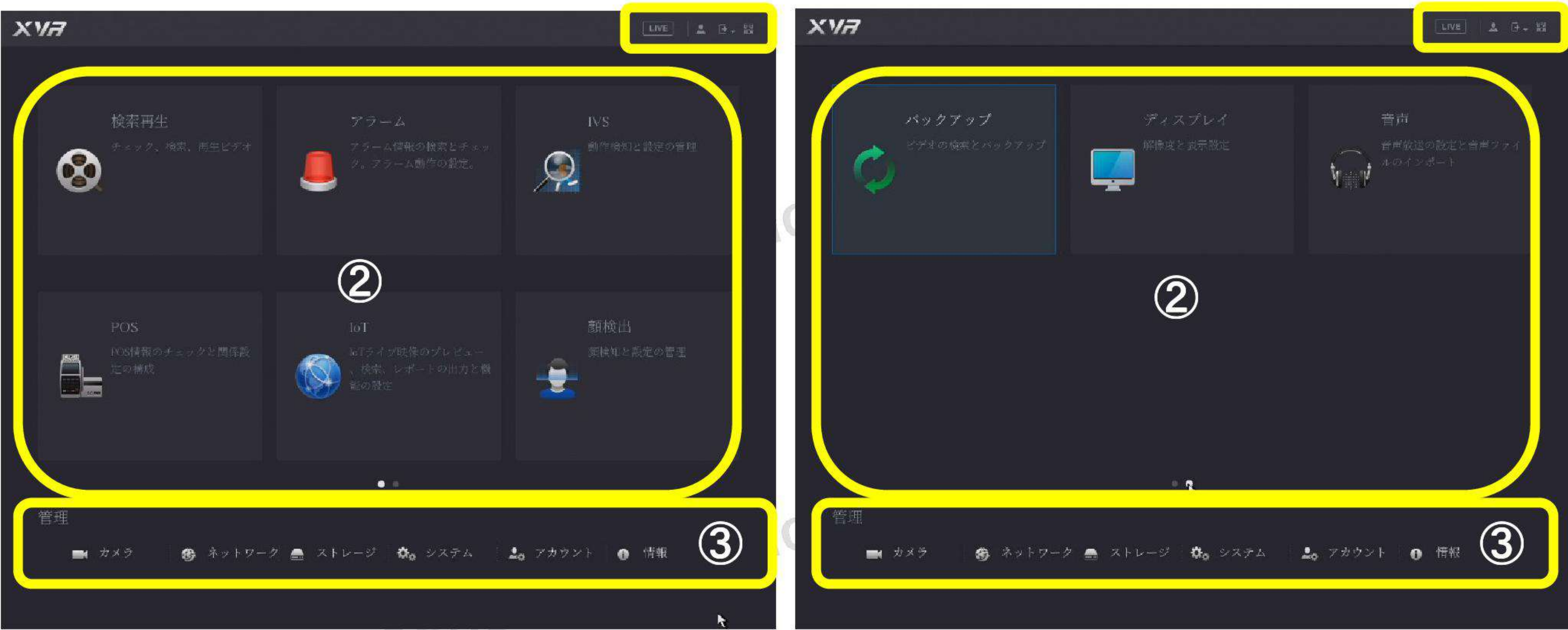
②タイムゾーン確認

「GMT+09:00」以外が設定されている場合、プルダウンメニューから「GMT+09:00」を選択して下さい。

4) 『適用』 をクリックし、修正を確定させます。



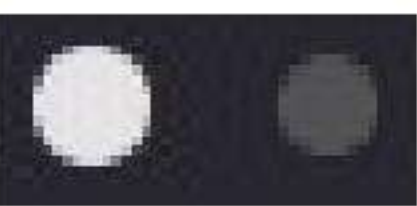

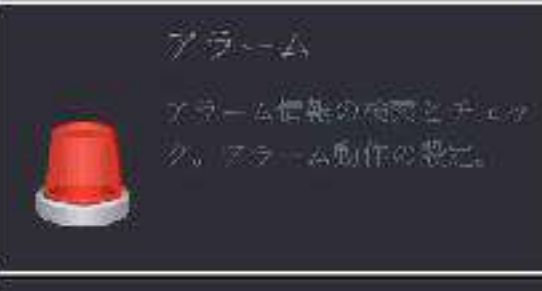


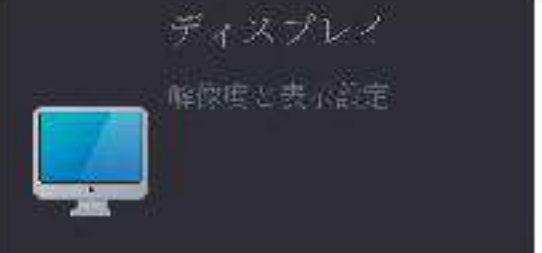






8.2. メインメニュー簡易用語説明



※機種によって、表示されている機能(アイコン)が異なります。

また、メインメニューが複数画面にわたる場合、中央の下段にある  のグレー側の  クリックすれば画面が切り替わります。

	アイコン		機能
①		ライブ	メインメニューを消去し、ライブ映像へ切り替えます。
		アカウント	ログイン中のアカウント表示を行います。
		シャットダウン	「ログアウト」、「再起動」、「シャットダウン」を行うことができます。
		QRコード	クリックすると「P2P クライアント」と「デバイス SN」の QR コードが表示されます。
②		画面切り替え	グレー側の  をクリックすることで、メインメニューの画面を切り替える事ができます。
		検索再生	HDD または USB に保存している録画映像を再生します。
		アラーム	アラームの入出力、動体検知やビデオロス、異常処理(HDD エラーなど) イベントなどの設定や IVS 機能を含めたこれらのイベントログ情報を出力することができます。
		IVS	IVS 機能の設定や IVS の結果の出力を行うことができます。
		POS	日本では未サポート
		IoT	日本では未サポート
		顔検索	顔検知の設定や顔検知結果の出力を行うことができます。
		バックアップ	保存している録画映像やスナップショットのバックアップを行うことができます。
		ディスプレイ	表示出力、ビュー表示、ツアーや 0 チャンネルなどの設定を行うことができます。
		音声	音声ファイルの出力設定を行うことができます。
③		カメラ	画像調整、エンコード変更、オーバーレイ設定、チャンネルタイプ変更など行うことができます。
		ネットワーク	TCP/IP、メール設定、P2P 設定などのネットワーク設定を行うことができます。
		ストレージ	スケジュール、フォーマットなどのストレージの設定を行うことができます。
		システム	時刻、メンテナンス、バックアップ、初期設定やアップデートなどの設定を行うことができます。
		アカウント	アカウントの登録、削除、変更など行うことができます。
		情報	バージョン情報、HDD やネットワークなどの情報、発生イベントなどを確認することができます。

8.3. 右クリックメニュー簡易用語説明



メインメニュー	メインメニュー画面が表示されます。
検索	検索再生画面が表示されます。
パン/チルト/ズーム	パン・チルト・ズームの操作画面が表示されます。
ビュー1、ビュー4、・・・、ビュー16	モニターに表示する分割画面の数を指定します。
前画面・次画面	モニターに表示されているビュー表示での前ビュー表示または次のビュー表示に切り替えます。
手動	映像とスナップショットの保存設定やアラーム出力設定の画面が表示されます。
プレビューモード	顔検出結果をビュー表示の下に表示するか否かの設定を行います。
色設定・イメージ	コントラストやブライトネスなどの映像の調整画面が表示されます。

8.4. プレビュー制御インターフェース簡易用語説明



- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤

NO.	項目	説明
①	リアルタイム再生	現在のチャンネルの直前の 5～60 分間の録画を再生します。
②	デジタルズーム	現在のチャンネルの指定ゾーンをズームインします。
③	手動録画機能	現在のチャンネルのビデオを USB デバイスにバックアップします。
④	マニュアル スナップショット	画面のスナップショットを実行します。 スナップショットファイルは、USB デバイスまたは HDD 上に保存されます。
⑤	ミュート	クリックしてミュートします。 もう一度クリックすると、プレビュー中にオーディオ機能が有効になります。 この機能は、1 画面モード専用です。

以上

1. 本手順書について	3
2. インストール／アンインストール	3
2.1. 環境	3
2.1.1. 動作環境	3
2.1.2. ダウンロード	3
2.2. Windows 版	4
2.2.1. インストール	4
2.2.2. アンインストール	6
2.3. MacOS 版	8
2.3.1. インストール	8
2.3.2. アンインストール	9
3. 操作手順	10
3.1. 新規画面簡易説明	10
3.2. SmartPSS 起動	12
3.2.1. 管理者パスワード設定	12
3.2.2. SmartPSS ログイン	12
3.3. SmartPSS への登録	13
3.3.1. デバイス画面の表示	13
3.3.2. カメラ／レコーダの自動検索	14
3.3.3. カメラ／レコーダ手動登録	15
3.3.4. デバイスの接続	16
3.4. ライブ映像表示	17
3.4.1. ライブビュー画面の表示	17
3.4.2. ライブ映像の表示	18
3.4.3. PTZ 操作	18
3.4.4. ライブビュー ストリーム切替	19
3.5. 録画再生	20
3.5.1. 再生画面の表示	20
3.5.2. 録画再生	20
3.5.3. エクスポート	22
3.6. エンコード設定	24
3.6.1. デバイス設定画面の表示	24
3.6.2. エンコード設定	24
3.7. デバイスグループ設定	27
3.7.1. 新しいグループの作成①	27
3.7.2. 新しいグループの作成②	27
3.7.3. 新しいグループの作成③	27
3.8. 便利機能	28
3.8.1. デバイス自動ログイン	28
3.8.2. デバイス情報エクスポート	29
3.8.3. デバイス情報インポート	29
3.8.4. SmartPSS のシステムバックアップ	30
3.8.5. SmartPSS からデバイスへの時刻設定	31

1. 本手順書について

- ・本手順書は Dahua 社のアプリケーションを簡単に使用して頂くための手順書です。
- ・本手順書のアプリケーションは「SmartPSS」のアプリケーションに絞っております。
- ・P2P ならびに DDNS の設定に関しましては、カメラならびにレコーダの手順書を参照してください。

2. インストール／アンインストール

- ・SmartPSS(スマートプロフェッショナル監視システム)のインストールの手順を以下に明記します。
- ・MacOS 版の SmartPSS は英語のみとなっております。日本語は対応しておりません。

2.1. 環境

2.1.1. 動作環境

項目	スペック
OS	Windows 7 以降 Mac OS X 10.7 以降
CPU	Intel Core i3 以上 (Core i5 以上推奨)
ビデオカード	Intel HD Graphics 以上
メモリ	2GB 以上 (4GB 以上推奨)
解像度	1024x768 解像度以上 (1920x1080 以上推奨)

2.1.2. ダウンロード

SmartPSS は弊社ならびに Dahua 社のホームページからダウンロードすることが可能です。

○弊社ホームページ(Windows 版のみ)

URL: <https://www.mitsuboshidiamond.com/it/docsearch/>

「機能」から、「ダウンロード—ソフトウェア」を選択し、「検索」をクリックして下さい。

ドキュメント名の「SmartPSS International」をクリックするとダウンロードが開始されます。

○Dahua ホームページ

URL: <https://www.dahuasecurity.com/>

Windows 版

「SUPPORT」-「Download Center」-「Software」の“Smart_PSS_International_VO.〇〇〇〇”をクリックするとダウンロードが開始されます。

MacOS 版

Windows 版と同じ場所の“SmartPss_Eng_Mac_IS_VO.〇〇〇〇”)をクリックするとダウンロードが開始されます。

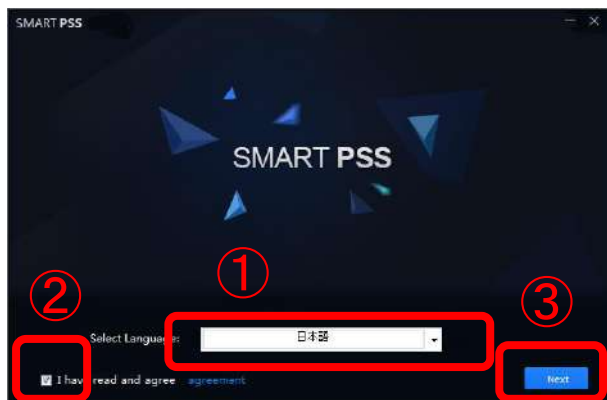
2.2. Windows 版

・本手順書では SmartPSS のバージョン 2.00.01 の手順を表記しています。インストールされるバージョンによって、本手順書と一部異なる画面になる場合がございます。

2.2.1. インストール

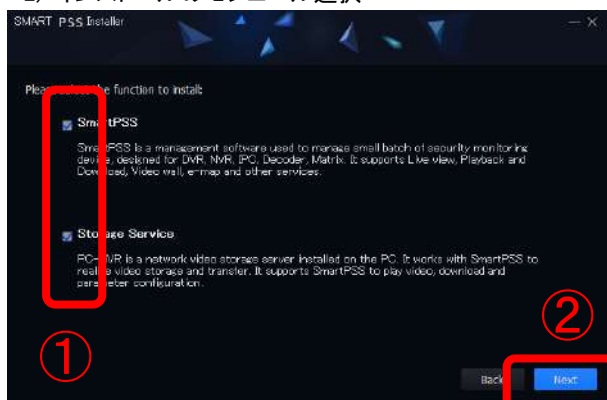
解凍した exe ファイル”SmartPSS_Setup.exe”をダブルクリックしてください。
※解凍後の exe ファイルはバージョンによって exe ファイル名が異なります。

1) SmartPSS のインストールの開始



- ①[Select Language]のプルダウンから日本語を選択します。
- ②[I have read and agree]にチェックを入れます。
- ③『Next』をクリックし、次の設定に移行します。

2) インストールのモジュール選択

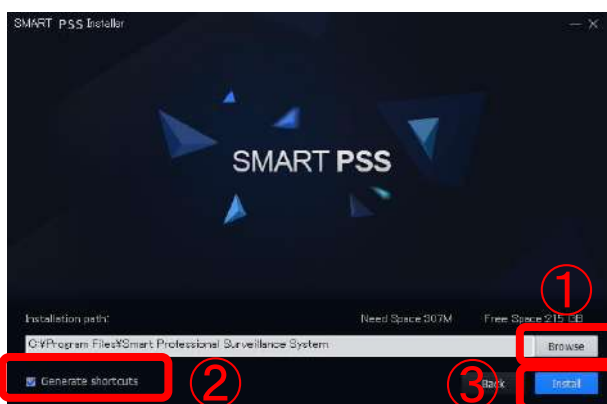


- ①チェック項目からインストールするモジュールを選択します。

SmartPSS	IPC、NVR、DVR の監視システム。IPC やレコーダのライブ映像、録画再生などが使用できます。
Storage Service	PC 上で使用する仮想 NVR レコーダです (PC-NVR)。IPC などの録画ができます。 ※保存領域が小さいので長時間の録画はお勧めできません。

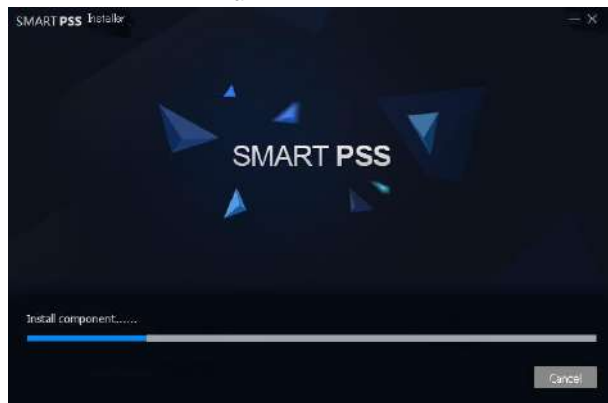
- ②『Next』をクリックし、次の設定に移行します。

3) インストール先とショートカットの作成の設定



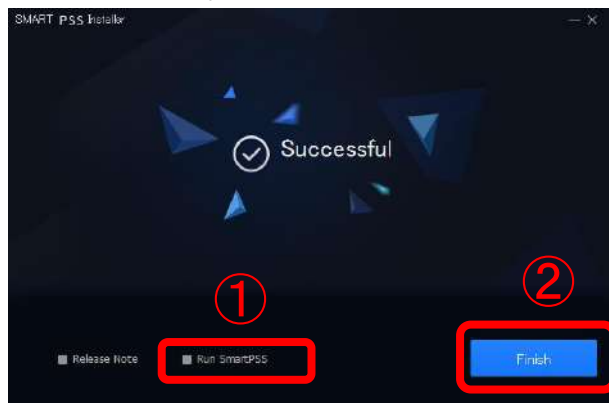
- ①SmartPSS のインストール先を変更する場合は、『Browse』をクリックして保存先を変更してください。
- ②Windows の画面上に SmartPSS のショートカットを作成する場合は、チェックを入れてください。
- ③『Next』をクリックすると、インストール画面に移行しインストールが開始します。

4) インストールの進捗状態の画面



※SmartPSS のインストール先を中止する場合は、『Cancel』をクリックしてください。

5) インストールの終了画



- ①インストール終了後に SmartPSS を起動する場合は、
[Run SmartPSS]にチェックを入れてください。
『Finish』をクリック後に自動的に起動します。
- ②『Finish』をクリックでインストールは終了です。

2.2.2. アンインストール

1) SmartPSS のアンインストーラーの起動

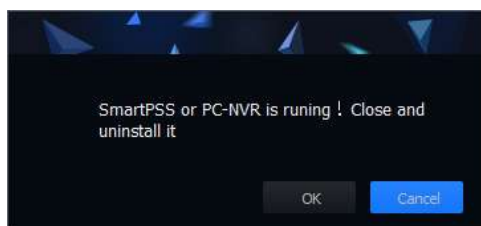
※アプリケーション起動中はアンインストールの実行はできません。アンインストール実行前に SmartPSS または PC-NVR (Storage Service)を終了させてください。




- ① スタートをクリックし、プログラム一覧を表示させます。
- ② SmartPSS の項目から『Uninstall SmartPSS』をクリックし、アンインストーラーを起動させます。

※“次の不明な発行元からのプログラムにこのコンピュータへの変更を許可しますか？”のユーザーアカウント制御の画面が表示された場合、『OK』をクリックします。

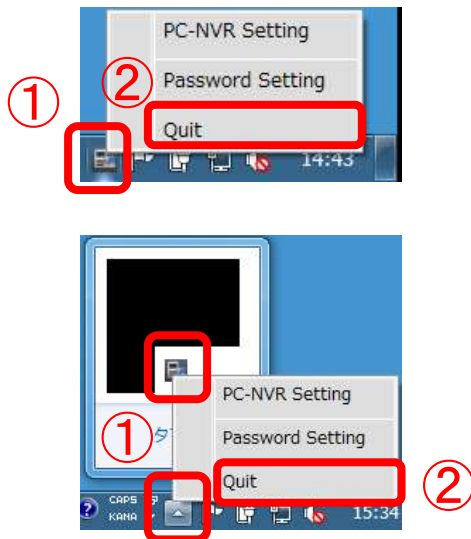
※ 下記のメッセージが表示された場合、SmartPSS または PC-NVR (Storage Service) が起動中です。『OK』または『Cancel』をクリックしてメッセージを消去し、SmartPSS または PC-NVR (Storage Service) を終了させてください。




i) SmartPSS の終了

SmartPSS の画面右上のをクリックし SmartPSS を終了させてください。


ii) PC-NVR (Storage Service) の終了



- ① ウィンドウズ画面の右下ののアイコンを右クリックし、メニューを表示させます。

※ウィンドウズ画面の右下にのアイコンがない場合は、

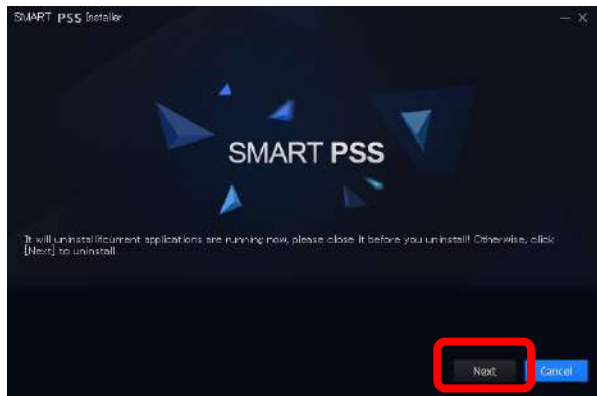


をクリックすると、表示されていないアイコンの一覧が表示されます。一覧の中からのアイコンを検索し、右クリックしてください。

- ② メニューから『Quit』をクリックし、PC-NVR (Storage Service) を終了させます。

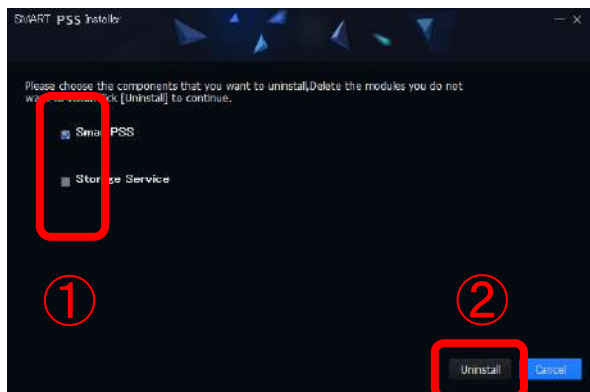
※パスワードの入力画面が表示された場合、パスワードを入力し、『OK』をクリックします。デフォルトのパスワードは“admin”です。

2) アンインストールの実行確認画面



『Next』をクリックし、次の設定に移行します。

3) アンインストールのモジュール選択



- ①チェック項目からアンインストールするモジュールを選択します。
※インストールされているモジュールのみチェックが入っています。
- ②『Uninstall』をクリックすると、アンインストールが開始します。

2.3. MacOS 版

- ・本手順書では SmartPSS のバージョン 2.00.01 の手順を表記しています。インストールされるバージョンによって、本手順書と一部異なる画面になる場合がございます。

2.3.1. インストール

1) インストールの開始



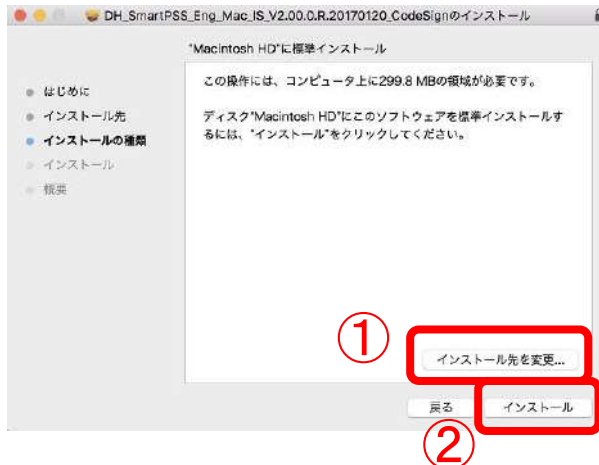
ダウンロードした”DH_SmartPSS_Eng_Mac_IS_V2.00.0.R.20170120_CodeSign.pkg”をダブルクリックしてください。インストール開始画面が表示されます。
※バージョンによって pkg ファイル名が異なります。

2) インストール開始確認画面



『続ける』をクリックし、次の設定に移行します。

3) インストール先の選択画面



- ① SmartPSS のインストール先を変更する場合は『インストール先を変更』をクリックし、インストール先を変更してください。
- ② 『インストール』をクリックし、次の画面に移行します。

4) ユーザー名とパスワードの入力画面



- ①[ユーザ名]と[パスワード]を入力します。
※PC のログインのユーザ名とパスワードを入力します。
- ②『ソフトウェアをインストール』をクリックし、次のインストール画面に移行します。

5) インストールの終了画面



『閉じる』をクリックでインストールは終了です。

2.3.2. アンインストール


1) 移動メニューの表示



- ①メニューから『移動』をクリックし、メニュー一覧を表示させます。
- ②項目から『アプリケーション』をクリックし、アプリケーション画面を表示させます。

2) アプリケーションの削除



- ①アプリケーションの一覧から『SmartPSS』をクリックします。
- ②  をクリックし、メニュー一覧を表示させます。
- ③『ゴミ箱に入れる』を選択し、SmartPSS を削除します。












3. 操作手順

- ・本手順書では Windows 版の SmartPSS のバージョン 2.00.01 の画面です。ご使用なられるバージョンによって、本手順書と一部異なる画面になる場合がございます。
- ・本手順書内の () 内の英語表記は SmartPSS の言語が『英語』の場合の表記です。

3.1. 新規画面簡易説明


新規画面の画面説明を表記します。この画面は SmartPSS での機能进行操作／設定を行うための基本画面となります。



番号	名称	機能
①	機能タブ	 をクリックすると、[新規] (New) タブが追加され機能リスト一覧が表示されます。
②	ヘルプ	<ul style="list-style-type: none">  をクリックするとユーザーが切り替わります。  をクリックすると画面がロックされます。  をクリックするとシステム設定ページに進みます。  をクリックするとヘルプドキュメントが閲覧できます。  をクリックすると画面が最小化されます。  をクリックすると画面が最大化されます。  をクリックすると SmartPSS が終了します。
③	システム情報	 16:24:54 : システム時刻が表示されます  をクリックすると CPU の占有率と状態が表示されます
④	ショートカット	 をクリックすると[イベント] (Event)の画面に進みます。

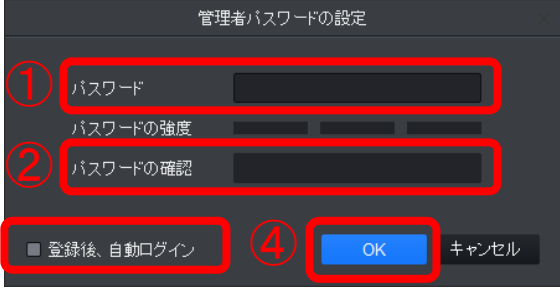
番号	名称	機能	
⑤	機能リスト	 [ライブビュー] (LiveView)	ライブ映像を視聴、PTZ の操作を行うことができます。
		 [再生] (PlayBack)	録画映像を再生/エクスポートを行うことができます。
		 [イベント] (Event)	SmartPSS でのカメラやレコーダのイベント受信の表示を行うことができます。
		 [ビデオウォール] (VideoWall)	ビデオウォールの設定を行うことができます。
		 [人物カウント] (People Count)	ピープルカウントの解析／結果の表示を行うことができます。
		 [ログ] (Log)	SmartPSS、カメラならびにレコーダのログの表示を行うことができます。
		 [イベント設定] (Event Config)	カメラやレコーダのイベント設定を行うことができます。
		 [デバイス] (Device)	SmartPSS にカメラやレコーダの追加や接続を行うことができます。
		 [デバイス設定] (Device CFG)	カメラやレコーダの各設定を行うことができます。
		 [PC-NVR] (PC-NVR)	カメラやレコーダのライブ映像を PC に録画することができます。
		 [ツアープラン] (Tour & Task)	SmartPSS のライブ映像の表示のツアー設定を行うことができます。
		 [ユーザー] (User)	SmartPSS のユーザーの追加・変更・削除を行うことができます。
		 [ヒートマップ] (Heat Map)	ヒートマップの解析／結果の表示を行うことができます。

3.2. SmartPSS 起動

ウィンドウズの画面にある SmartPSS のアイコン  をダブルクリックします。

3.2.1. 管理者パスワード設定

初回起動時に管理者 (admin) のパスワードを設定する必要があります。



① [パスワード] に管理者パスワードを入力します。
② [パスワード確認] に [パスワード] で入力した、管理者パスワードを再度入力します。
③ [登録後、自動ログイン] にチェックを入れた場合、管理者パスワード設定後にログイン画面を省くことができます。
④ 『OK』をクリックし、管理者パスワード設定を終了します。



注意:

- i) システムのユーザー名は "admin" で固定ですが、初期パスワードはユーザーが設定してください。
- ii) パスワードは 8 文字以上です。

3.2.2. SmartPSS ログイン

1) ログイン画面




[ユーザー名] 、[パスワード]  を入力し、『ログイン』(Login) をクリックして SmartPSS にログインしてください。

※[パスワードを保存](Remember Password)、[オートログイン](Auto login) は必要に応じて設定してください。

[パスワードを保存] (Remember Password)	次回起動時に前回ログインしたパスワードが入力された状態でログイン画面が表示されます。
[オートログイン] (Auto login)	次回起動時に前回ログインしたユーザーで自動的にログインします。 ※ユーザー切り替えで設定の変更できます。


2) 機能説明映像




初回のログイン時に機能説明映像が表示されますので、 をクリックして終了させてください。

3.3. SmartPSS への登録

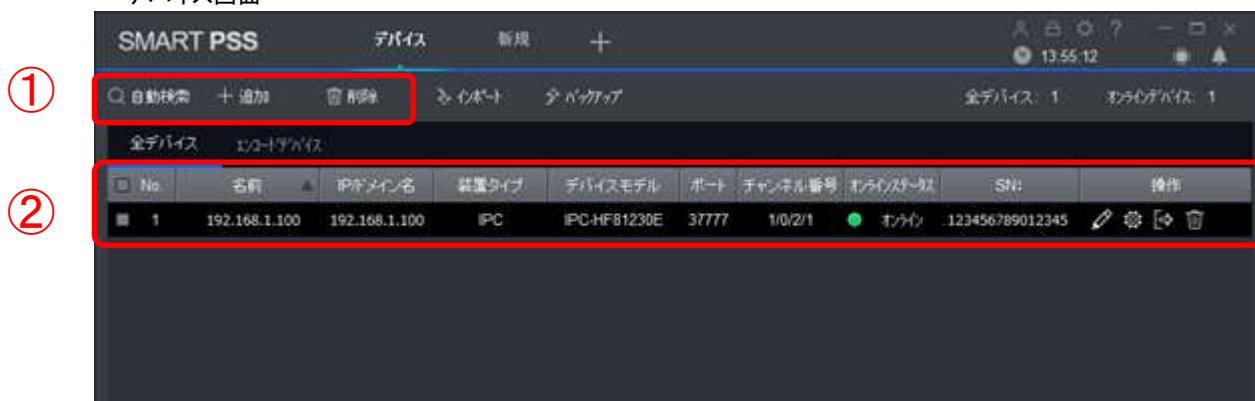
3.3.1. デバイス画面の表示

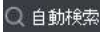


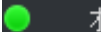
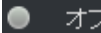

新規の画面の機能リストから『デバイス』(Device)のアイコンをクリックします。

※新規のタブがない場合は機能タブの上段(“SmartPSS”のロゴの横)のをクリックしてください。



・デバイス画面



番号	項目		機能	
①	デバイスメニュー	 自動検索 (Search)	Dahua 社のカメラ／レコーダを自動で検出し、登録を行います。	
		 追加 (Add)	P2P や DDNS の設定カメラ／レコーダを手動で登録を行います。	
		 削除 (Delete)	登録リストで選択されたカメラ／レコーダを登録リストから削除します。	
②	登録リスト	[名前] (Name)	登録の際に設定したデバイス名が表示されます。	
		[IP/ドメイン名] (IP/Domain Name)	カメラ／レコーダの IP アドレス、P2P 接続時のシリアルや DDNS ドメイン名が表示されます。	
		[装置タイプ] (Type)	接続されているカメラ／レコーダのタイプが表示されます。	
		[デバイスモデル] (Model)	カメラ／レコーダの設定されているモデル名が表示されます。	
		[ポート] (Port)	接続するポート番号が表示されます。	
		[チャンネル番号] (Channel Number)	カメラ／レコーダのビデオ入力／ビデオ出力／アラーム入力／アラーム出力が表示されます。	
		[オンラインステータス] (Online Status)	オンライン(Online)	 オンライン はカメラ／レコーダと接続状態です。
			オフライン(Offline)	 オフライン はカメラ／レコーダと接続されていない状態です。
		[SN] (SN)	カメラ／レコーダのシリアル番号が表示されます。	
		[操作] (Operation)	 カメラ／レコーダのデバイス名、ポート番号、ユーザー名、パスワードの変更ができます。	

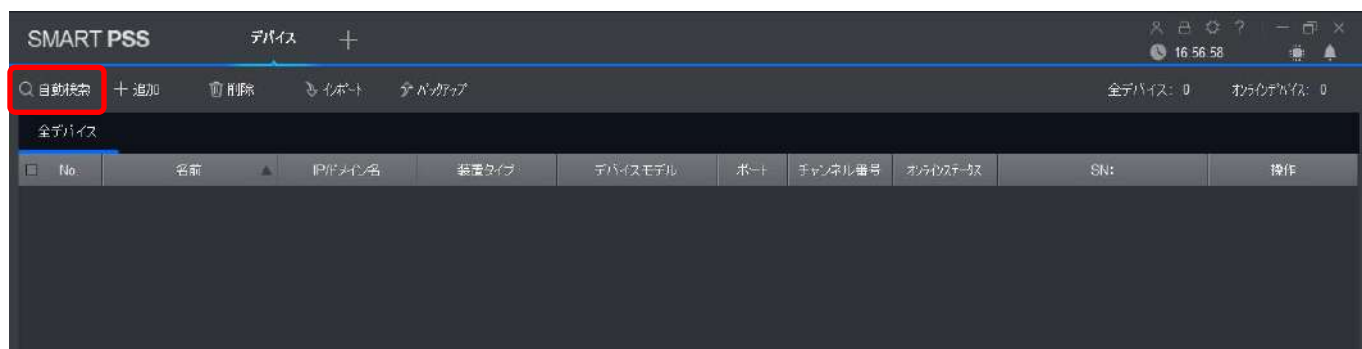
番号	項目			機能
				カメラ／レコーダのデバイス設定画面が表示されます。
			 	カメラ／レコーダにログイン／ログアウトをします。
				カメラ／レコーダをデバイス登録リストから削除します。

3.3.2. カメラ／レコーダの自動検索

ネットワーク内のカメラ／レコーダを自動検出し、登録を行います。

1) 自動検索画面を表示

デバイス画面左上にある  自動検索 の『自動検索』(Search)をクリックすると、自動検索画面が表示されます。



2) カメラ／レコーダの検索ならびに選択



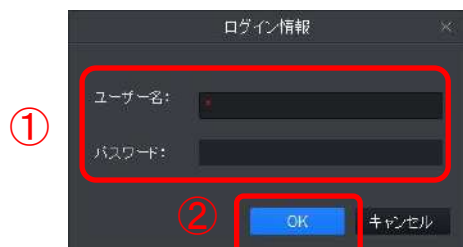
① 検索結果一覧から登録するカメラ／レコーダを選択します。

(リストの左端の ☐ にチェック ☒ を入れる。)

②『追加』(Add)をクリックし登録します。

※一覧にない場合は『キャンセル』(Cancel)をクリックし、自動検索画面を消去し、しばらく時間を置いてから再度、『自動検索』(Search)をクリックしてください。

3) ユーザー名、パスワードの入力



① 選択したカメラまたはレコーダのログインするための

[ユーザー名](User Name)と[パスワード](Password)を入力します。

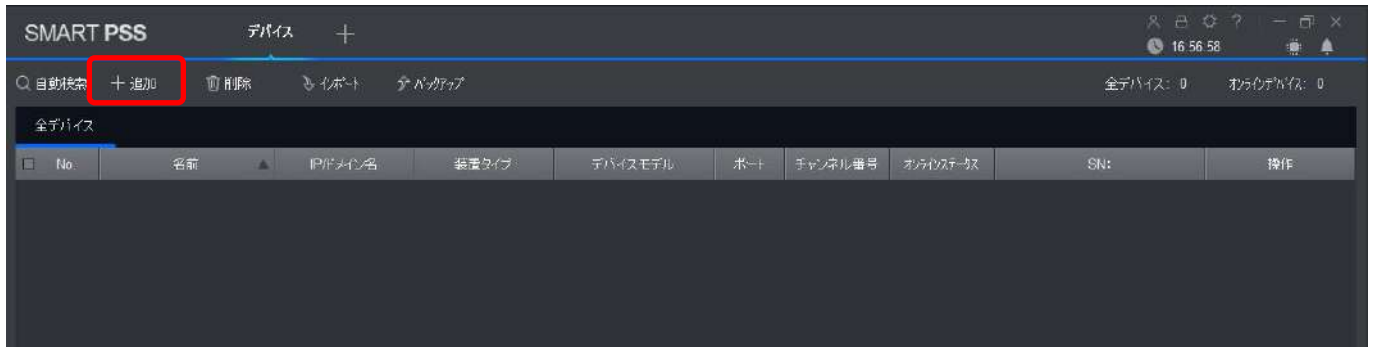
②『OK』をクリックすると、登録リストに追加されます。

3.3.3. カメラ／レコーダ手動登録

自動検索で IP アドレスが表示されない場合やカメラ／レコーダを P2P や DDNS にて接続する場合の登録を行います。

1) 手動登録画面を表示

画面左上にある **+ 追加** の『追加』(Add)をクリックします。



2-1) 手動登録画面 (IP/DDNS 接続)

①接続情報を入力します。

※[登録モード](Method to add)で「IP/ドメイン」を選択した際に、手動追加画面が IP/DDNS 用に変更されます。

②設定が終了したら、[追加](Add)をクリックします。

※登録後に続けて他のカメラ／レコーダの登録を行う場合は、[保存して続ける](Save and Continue)をクリックしてください。

項目	設定内容
[デバイス名] (Device Name)	SmartPSS に登録するデバイス名を入力します。 ※登録のカメラ／レコーダの一覧が表示された際に、カメラ／レコーダが判別できるような名前を付ける事を推奨します。
[登録モード] (Method to add)	「IPドメイン」を選択します。
[IP/ドメイン名] (IP/Domain Name)	接続するカメラ／レコーダの IP アドレス、または DDNS を設定した際のドメイン名を入力します。
[ポート] (Port)	接続するカメラ／レコーダで設定されている TCP ポートのポート番号を入力してください。デフォルトはカメラ、レコーダとも「37777」です。
[グループ名] (Group Name)	グループを選択します。 ※グループを作成していない場合は、「初期設定グループ」のみです。
[ユーザー名/パスワード] (User name/ Password)	カメラ／レコーダにログインするユーザー名とパスワードを入力します。

2-2) 手動登録画面(P2P 接続)

①接続情報を入力します。



※[登録モード](Method to add)で「SN(P2P 対応デバイス向け)」を選択した際に、手動追加画面が P2P 用に変更されます。

②設定が終了したら、[追加](Add)をクリックします。

※登録後に続けて他のカメラ／レコーダの登録を行う場合は、[保存して続ける](Save and Continue)をクリックしてください。

項目	設定内容
[デバイス名] (Device Name)	SmartPSS に登録するデバイス名を入力します。 ※登録のカメラ／レコーダの一覧が表示された際に、カメラ／レコーダか判別できるような名前を付ける事を推奨します。
[登録モード] (Method to add)	「SN(P2P 対応デバイス向け)」を選択します。
[SN] (SN)	接続するカメラ／レコーダのシリアル番号を入力します。
[グループ名] (Group Name)	グループを選択します。 ※グループを作成していない場合は、「初期設定グループ」のみです。
[ユーザー名/パスワード] (User name/ Password)	カメラ／レコーダにログインするユーザ名とパスワードを入力します。


3.3.4. デバイスの接続


各機能タブでカメラ／レコーダを操作する場合、オンライン状態でなければなりません。カメラ／レコーダの[オンラインステータス](Online Status)が「オンライン」(Online) の  **オンライン** 状態でない場合は、[操作](Operation)のアイコン  をクリックし、カメラ／レコーダにログインしてオンライン状態にしてください。

No.	名前	IPアドレス	装置タイプ	デバイスモデル	ポート	チャンネル番号	オンラインステータス	SN	操作
1	192.168.1.100	192.168.1.100	N/A	N/A	37777	0/0/0/0	● オフライン	N/A	
2	192.168.1.101	192.168.1.101	N/A	N/A	37777	0/0/0/0	● オフライン	N/A	

3.4. ライブ映像表示

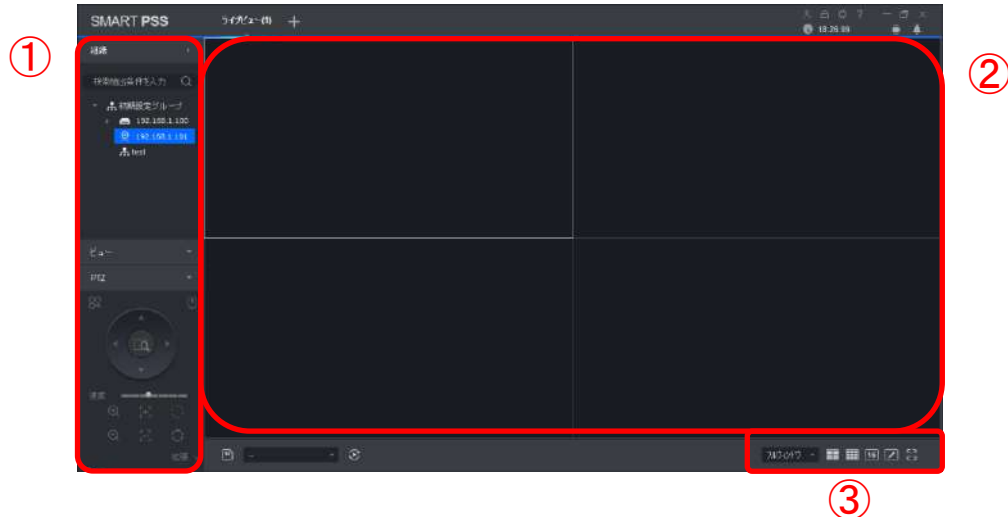
3.4.1. ライブビュー画面の表示







新規の画面の機能リストから『ライブビュー』(LiveView)のアイコンをクリックします。

※新規のタブがない場合は機能タブの上段(“SmartPSS”のロゴの横)のをクリックしてください。




・ライブビュー画面



番号	項目	機能
①	[組織] (Organizations)	登録リストが表示されます。 カメラ/レコーダのアイコンの右下に状態のマークがつけます。 なし: ログイン状態、  : ライブビュー表示状態、  : ログオフ状態
②	ライブビューウィンドウ	指定したカメラのライブ映像が表示されます。
③	フルウィンドウ	表示されている全てのライブ映像の表示比率を変更します。
	  16	1 画面に表示するライブビューウィンドウ数を 4/9/16 にします。
		1 画面に表示するライブビューウィンドウ数を他の数に設定やユーザーが作成することができます。
		表示しているライブビューウィンドウがフルスクリーンで表示されます。

3.4.2. ライブ映像の表示


※ライブ映像を表示させるカメラ／レコーダがログオフ状態(アイコンにが付いている)場合は、先に「3.3.4 デバイスの接続」の手順でカメラ／レコーダにログインしてください。




①ライブ映像の表示したいカメラ／レコーダをダブルクリックします。

※DVR レコーダは全てのチャンネルが表示されます。
接続されていないチャンネルの場合も黒画像で表示されます。

※NVR レコーダは接続されているカメラ全て表示されます。

※レコーダ内のカメラを指定したい場合は右にあるをクリックして表示したいカメラを選択してください。

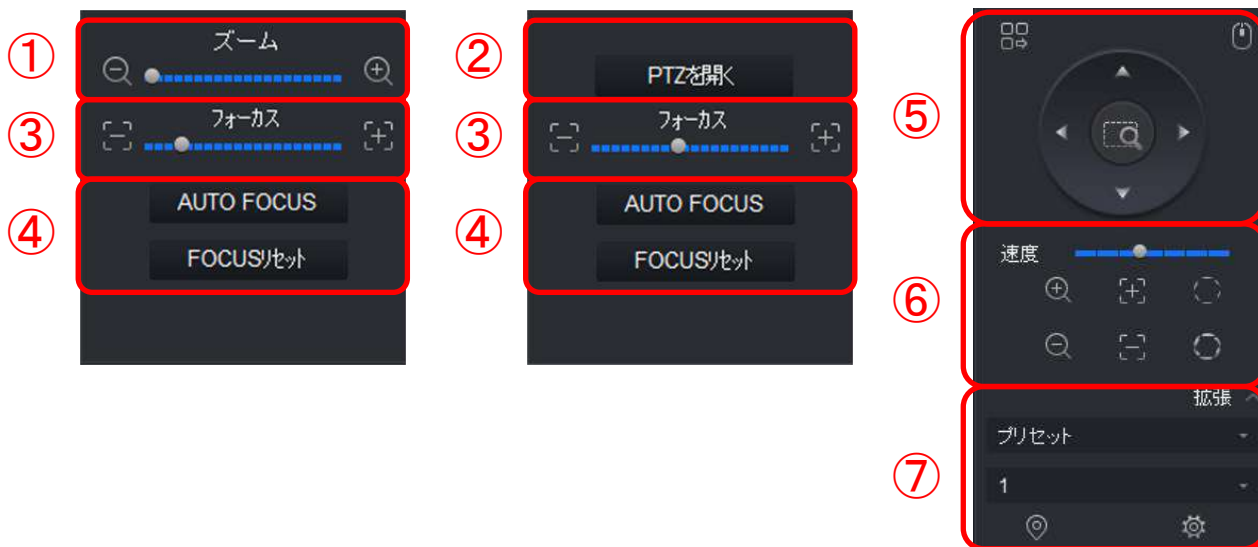
②白い枠線のウィンドウに映像が表示されます。

※映像が表示された場合、アイコンにが付きます。





















※白い枠線に映像が出力されますので、ライブ映像を表示したいウィンドウでクリックし白い枠線を変更させてください。
また、レコーダをダブルクリックした場合は白い枠線のウィンドウから順にライブ映像が表示されていきます。

3.4.3. PTZ 操作

PTZ 操作画面は指定したカメラによって画面が異なります。



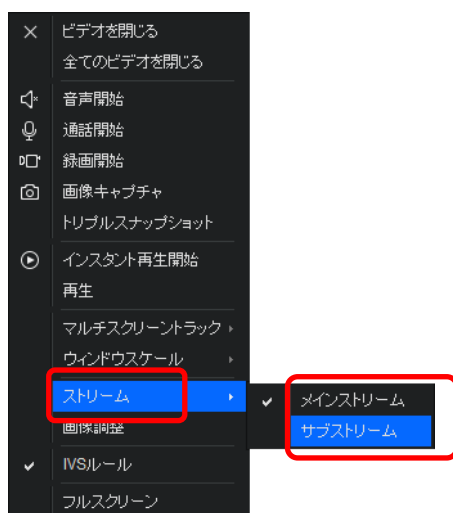
番号	項目	機能
①	ズーム	 か  をクリックしてズームを調整します。
②	PTZ への切り替え	『PTZ を開く』(Switch to PTZ)をクリックすると、システムが PTZ コントロールにジャンプします。
③	フォーカス	 か  をクリックしてピントを調整します。
④	オートフォーカス	『AUTO FOCUS』(Auto Focus)をクリックするとオートフォーカスが作動します。
	フォーカスのリセット	『FOCUS のリセット』(Reset Focus)をクリックするとリセットされます。
⑤	メニュー	 をクリックすると PTZ メニューに移動し、カメラの OSD の表示／操作ができます。
	マウスシミュレーター	 をクリックするとマウスで PTZ が操作できます。
	方向	 ,  ,  ,  をクリックすると、PTZ を移動させることができます。

番号	項目	機能
	3D 位置	 をクリックし、ライブビューウィンドウ内に枠を描くと、描画枠に合わせ、PTZ の移動やピントを調整します。
⑥	速度	PTZ の移動速度を制御します。1～8 の移動ステップに設定できます。
	ズーム	 か  をクリックしてズームを調整します。
	フォーカス	 か  をクリックしてピントを調整します。
	絞り	 か  をクリックして明るさを調整します。
⑦	[拡張] (More Functions)	プリセット
		プリセット  で[プリセット](Preset)を選択し、  にてプリセットを設定すると、カメラに設定したプリセット位置に  で簡単に移動することができます。 注意： 最大 128 個のプリセットを設定することができます。
		ツアー
		プリセット  で[ツアー](Tour)を選択し、  にてツアー を設定すると、  でカメラの設定したプリセットポイント間を巡回することができます。 注意： 最大 8 個のツアーを設定することができます。
		パン
		プリセット  で [パン] (Pan) を選択し、  をクリックすると、水平に回転します。
		スキャン
		プリセット  で [スキャン] (Scan) を選択し、2つの端点   を設定すると、設定した端点の間でカメラが繰り返し回転します。
		パターン
		プリセット  で[パターン](Pattern) を設定すると、カメラの操作が記録され、記録どおりの動作をさせることができます。
		予備
		プリセット  でAuxでは、予備コマンドに進んで予備ポイントが起動できます。

3.4.4. ライブビュー ストリーム切替


ライブ画面上で、マウスを右クリックし、ストリームをクリックします。


これにより、ライブ映像をメインストリームかサブストリームで表示するかを選択する事が出来ます。



3.5. 録画再生

3.5.1. 再生画面の表示

新規の画面の機能リストから『再生』(PlayBack)のアイコンをクリックします。

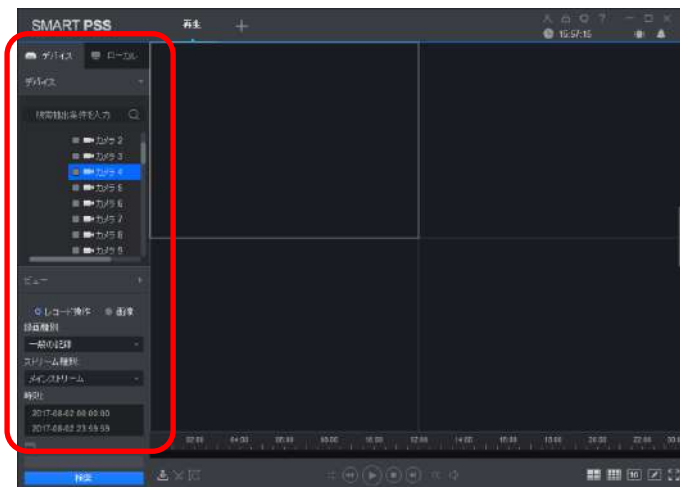
※新規のタブがない場合は機能タブの上段(“SmartPSS”のロゴの横)のをクリックしてください。



3.5.2. 録画再生

※録画再生を行うカメラ／レコーダがログオフ状態(アイコンに)が付いている場合は、先に「3.3.4 デバイスの接続」の手順でカメラ／レコーダにログインしてください。

1) 録画データの条件を指定



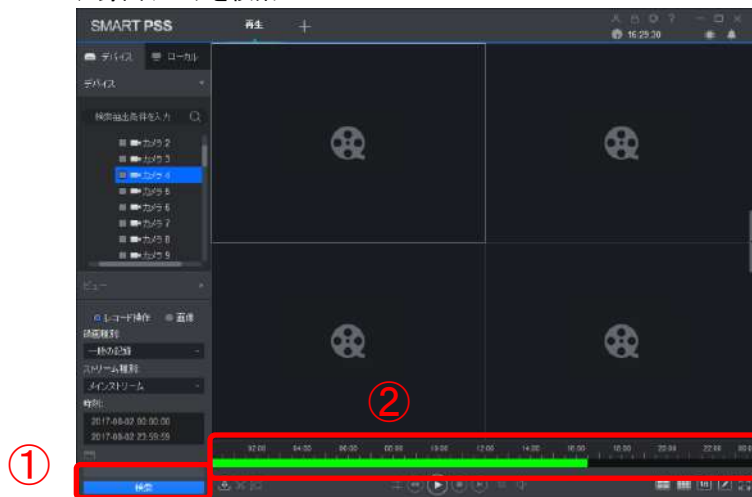
以下の条件を設定します。

- ・録画再生を行うカメラ
- ・[レコード操作](Record)／[画像](Picture)
- ・[録画種別](Record Type)
- ・[ストリーム種別](Stream Type)
- ・[時刻](Time)

項目		機能
[デバイス]	(Device)	デバイス画面で登録されたカメラ／レコーダの一覧が表示されます。
[レコード操作]	(Record)	動画の録画データを取得します。
[画像]	(Picture)	静止画(スナップショット)の録画データを取得します。
[録画種別] (Record Type)	全ての録画 (All Record)	全ての録画データを取得します。
	一般の記録 (General)	標準の録画データを取得します。
	アラーム録画 (Alarm Record)	アラームにより録画されたデータを取得します。
	MD(動体検知録画) (MD)	動体検知により録画されたデータを取得します。
	インテリジェント (Intelligent)	インテリジェントにより録画されたデータを取得します。

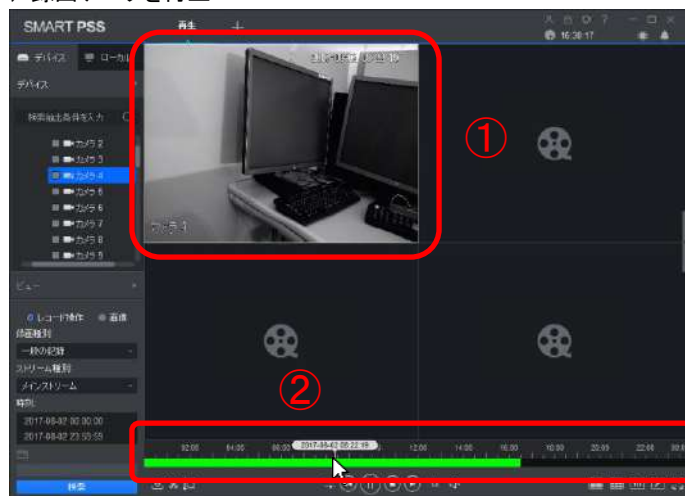
項目		機能
	カード録画 (Card Record)	カード番号で録画されたデータを取得します。
[ストリーム種別] (Stream Type)	メインストリーム (Main Stream)	メインストリームの録画データを取得します。
	サブストリーム (Sub Stream)	サブストリームの録画データを取得します。
[時刻]	(Time)	取得する録画データの日時を設定します。


2) 録画データを検索



- ①『検索』(Search)をクリックします。
- ②録画データがある場合は、タイムバーに緑色のバーで録画されている時間が表示されます。

3) 録画データを再生



- ①  のあるウィンドウをクリックします。
- ②タイムバー上で再生したい時間位置をクリックします。①でクリックしたウィンドウに録画映像が表示されます。

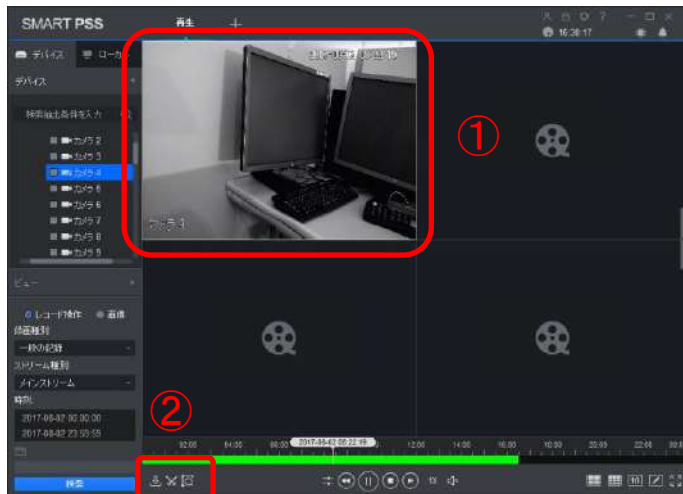
※時間表示はタイムバー上でマウスのホイールを回転させることで、24 時間表示(2 時間間隔)から 7 分表示(1 分間隔)で表示することができます。また、タイムバーの表示されている時間上でクリックした状態で左右に動かすことで表示している時間を変更することができます。




3.5.3. エクスポート

※エクスポートを行うには、先に「3.5.2.録画再生」の手順で録画再生を行ってください。

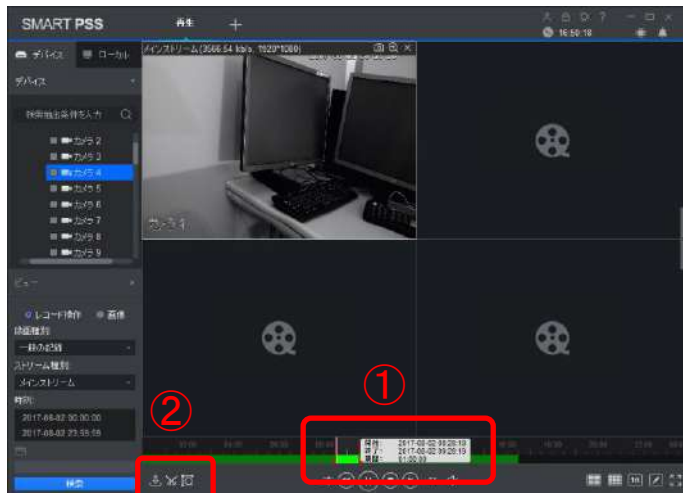
1) エクスポートの開始





①エクスポートする再生中のウィンドウをクリックします。


②エクスポートを行う録画時間に  をクリックします。

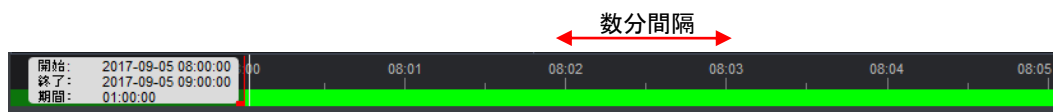
2) エクスポートの開始／終了時間を指定



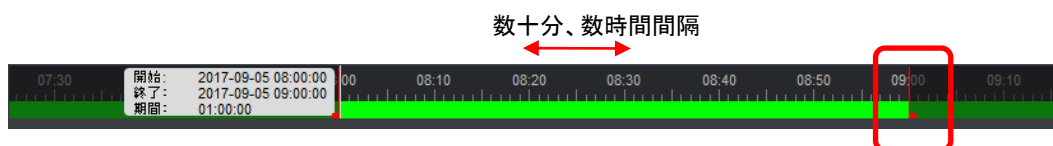
①  が表示されますので必要に応じてエクスポートする録画時間（開始時間、終了時間）をマウスで調整してください。

②録画の切り取り部分が決まりましたら、もう一度  をクリックします。

※タイムバーの時間表示の間隔を数分間隔に表示している場合は、エクスポートの時間設定時に設定枠  がタイムバーの表示内にならない場合があります。



無い場合は、タイムバーの表示している時間をクリックした状態でスライドさせ表示時間を変更させるか、またはマウスのホイールを回転させて時間表示の間隔を数十分や数時間間隔に縮小表示すれば設定枠はタイムバー内に表示されます。



3) エクスポートの保存先指定



- ①エクスポートの[パス](Path)を選択します。
 - ②エクスポートの[ファイル形式] (Export Format)を選択します。
 - ③[OK] をクリックします。
- ※エクスポートするために再生の停止情報が表示されたら、[OK] をクリックします。

ファイル形式	再生
ASF	全ての Windows Media Player で再生可能
AVI	全ての Windows Media Player で再生可能
MP4	Windows Media Player 12 以降で再生可能
オリジナル形式	SmartPlayer で再生可能 (Dahua 社の再生ソフト)

※[ファイル形式](Export Format)が[元フォーマット](Original Format)に設定されている場合、[SmartPlayer をエクスポート](Export Smart Player)にチェックマークを入れると、元フォーマットの再生プレーヤーもエクスポートされます。

4) エクスポート画面





エクスポートが開始されると、[エクスポート進捗] (Export Progress) の画面が表示されます。[ステータス](Status)が 100%になればエクスポート終了です。エクスポートが終了した項目は、[エクスポート進捗] (Export Progress) のリストから[エクスポート済み] (Exported) のリストに移動します。

※[エクスポート済み] (Exported) タブをクリックすると、エクスポート履歴の表示やエクスポート保存先のフォルダを開くことができます。

3.6. エンコード設定


3.6.1. デバイス設定画面の表示

新規の画面の機能リストから『デバイス設定』(Device CFG)のアイコンをクリックします。

※新規のタブがない場合は機能タブの上段(“SmartPSS”のロゴの横)のをクリックしてください。

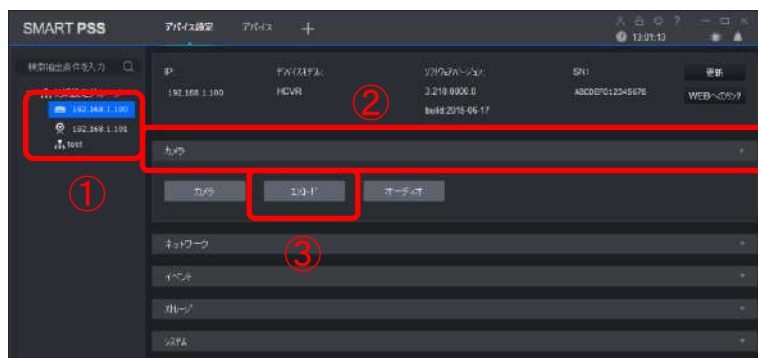


3.6.2. エンコード設定

※設定を変更させるカメラ/レコーダがログオフ状態(アイコンにが付いている)場合は、先に「3.3.4 デバイスの接続」の手順でカメラ/レコーダにログインしてください。

1) エンコード設定画面を表示

※カメラやレコーダによってボタンの有無など一部異なる画面になる場合がございます。



①カメラ/レコーダを選択します。

②[カメラ](Camera)のアイコンをクリックし、カメラの項目を表示させます。

③[エンコード](Encode)をクリックします。

・エンコード設定画面



番号	項目	機能
①	[チャンネル番号] (Channel No)	エンコードを変更するチャンネル番号を選択します。 ※レコーダのみ
②	[ストリーム] (Stream Type)	変更するストリームを選択します。「通常」(General)、「MD」(MD)、「アラーム」(Alarm)の個々の状態での設定が可能です。
③	[ビデオ設定] (Video Setup)	サブストリームの有効／無効を設定します。
④	[圧縮] (Encode Type)	ビデオの圧縮形式を選択します。 ※カメラやレコーダによって設定可能な圧縮形式が異なります。
	[解像度] (Resolution)	ビデオ映像の解像度を選択します。
	[フレームレート(FPS)] (FPS)	1 秒間のコマ数を設定できます。コマ数が多いほど、滑らかな映像が記録できます。
	[ビットストリーム] (Bit Stream)	1 秒間のデータ量を設定できます。 データ量が多いほどクリアな映像が記録できますが、その代わりに録画データの量が多くなります。Dahua 製品ではこのビットレートの設定が映像の品質に直結します。
	[参照ビットレート] (Ref Stream)	設定可能なビットストリームが表示されます。
	[オーディオ設定] (Audio Setup)	オーディオの有効／無効の設定をします。
	[エンコードモード] (Encode Mode)	オーディオ形式を選択します。 G.711A、G.711U、PCM の選択ができます。
⑤	[音声頻度] (Audio Frequency)	音声周波数(周波数が高ければ高いほど高品質、データ量も大きい) 8k、16k、32kの選択ができます。
	[音声ソース] (Audio Source)	音声入力先を選択します。 BNC:レコーダのオーディオコネクタ、同軸:カメラ側のマイク入力部
	[適用] (Apply)	設定の保存処理を行い、引き続き設定を行うことができます。
	[保存] (Save)	設定を保存し、エンコード設定画面は消去します。
	[キャンセル] (Cancel)	設定を保存せずにエンコード画面を消去します。

2) エンコード設定



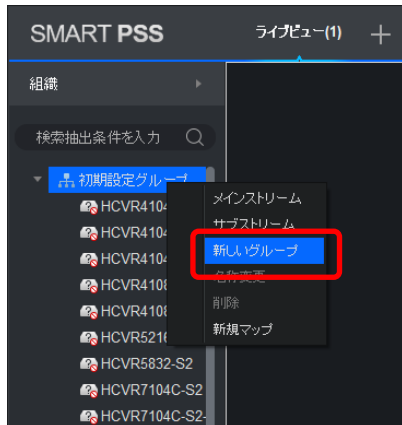
- ①メインストリーム／サブストリームの設定を変更します。
- ②[保存](Save)をクリックします。

3.7. デバイスグループ設定

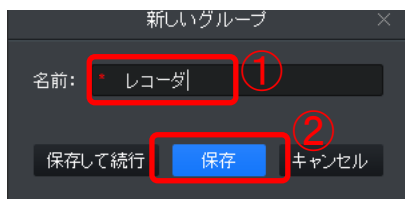
ライブビューと再生画面でデバイスを分類できるグループの作成手順です。
※デバイスの設定はバックアップに反映されません。

3.7.1. 新しいグループの作成①

「ライブビュー」画面を開き、「新しいグループ」をクリックして下さい。



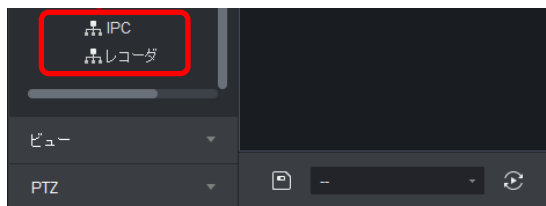
3.7.2. 新しいグループの作成②



- ①「名前」に任意の名前を入力してください。
- ②「保存」をクリックして下さい。

3.7.3. 新しいグループの作成③

画面下に作成したグループが追加されます。デバイスのアイコンをドラッグし、グループのアイコンにドロップするとデバイスが移動します。

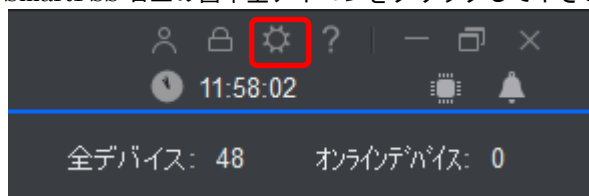


3.8. 便利機能

SmartPSS の便利な機能について記載します。

3.8.1. デバイス自動ログイン

SmartPSS 右上の歯車型アイコンをクリックして下さい。



以下の画面が表示されます。値を設定後、「保存」をクリックして下さい。
設定の内容によっては、SmartPSS の再起動が必要となります。



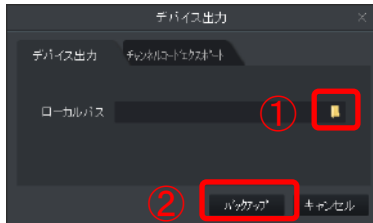
NO	項目	メニュー	機能
①	ベース	初期ページ	ソフトウェア起動後に表示するページを設定。 新規ページ、プレビュー、最後のページを復元
②		最大表示	最大表示した時の表示方法。 フルスクリーン(全画面に表示) 最大ウィンドウ(タスクバーを除いた全画面に表示)
③		最小操作	浮動ウィンドウ表示 最小化すると、デスクトップにアイコンが表示されます。
④	プレビュー	最後のプレビューを再開	SmartPSS 起動しプレビュー画面を開くと、前回終了時のライブ映像が表示されます。
⑤	デバイスマネージャ	デバイスオートログイン	SmartPSS 起動時に、登録したデバイスに自動ログインを行います。

3.8.2. デバイス情報エクスポート

SmartPSS に登録したデバイス情報を XML ファイルにエクスポートします。
「デバイス」を開き、「バックアップ」をクリックします。グループ情報はエクスポートされないので注意願います。

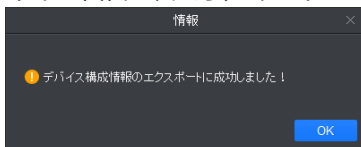


「ローカルパス」のアイコンをクリックします。



- ①アイコンをクリックし、ファイル名と保存先を指定して「保存」をクリックします。
- ②「バックアップ」をクリックします。

以下の画面が出たら、エクスポートは終了となるので、「OK」をクリックします。



3.8.3. デバイス情報インポート

エクスポートしたデバイス情報の XML ファイルを、SmartPSS にインポートします。
「デバイス」を開き、「インポート」をクリックします。

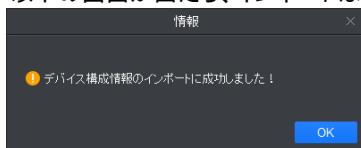


「ローカルパス」のアイコンをクリックします。



- ①アイコンをクリックし、インポートするファイルを指定して「開く」をクリック
- ②「インポート」をクリックします。

以下の画面が出たら、インポートは終了となるので、「OK」をクリックします。



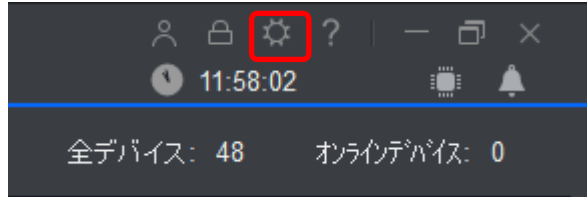
注意①: インポートした情報の反映には少し時間がかかります。

注意②: グループ設定はインポートできません(仕様)。

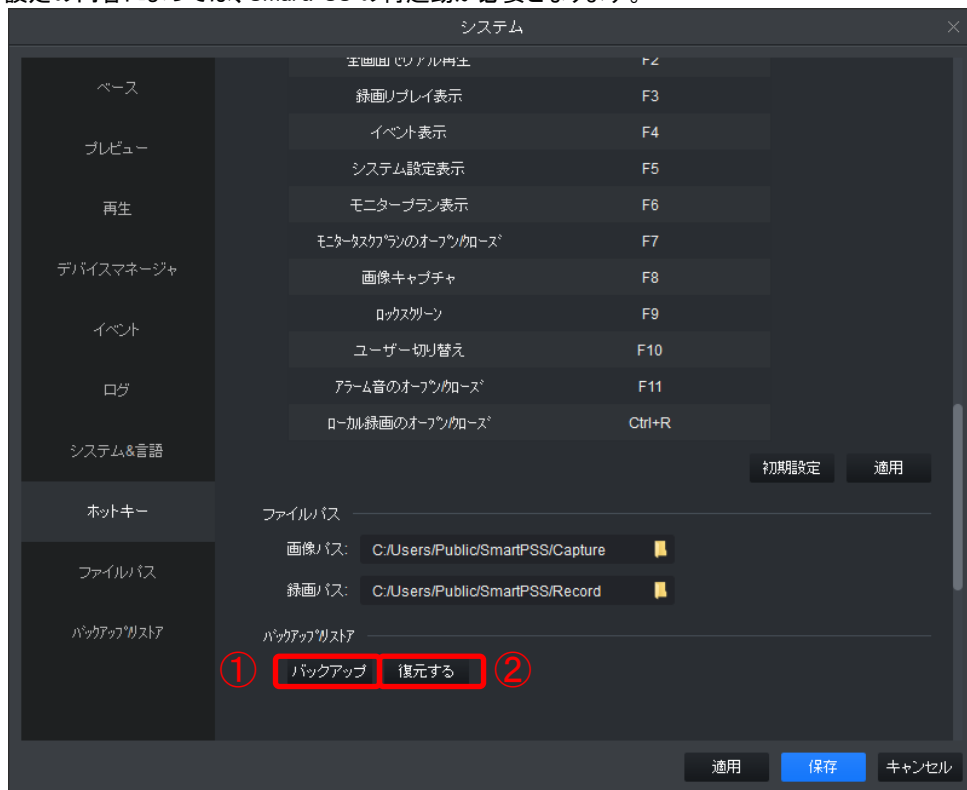
3.8.4. SmartPSS のシステムバックアップ

SmartPSS のアプリケーションの設定をバックアップできます。
この機能はデバイス情報のグループもバックアップ/リストアが可能です。

SmartPSS 右上の歯車型アイコンをクリックして下さい。



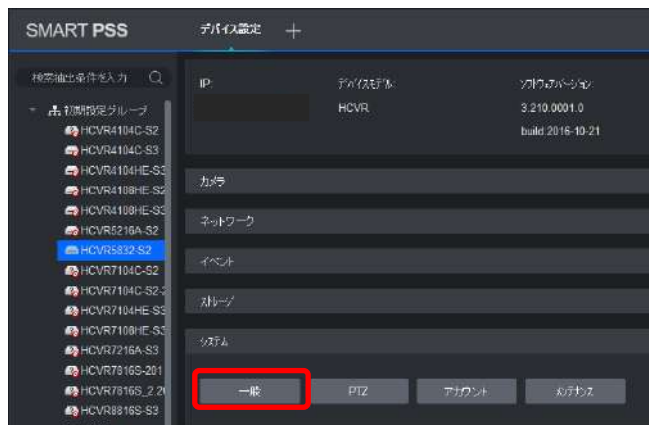
システム画面が表示されるので、一番下まで画面をスライドします。
設定の内容によっては、SmartPSS の再起動が必要となります。



NO	項目	メニュー	機能
①	バックアップ リストア	バックアップ	ボタンをクリックすると、「.pss」ファイルの保存先を聞かれます。 保存先とファイル名を指定し、ファイルを保存して下さい。
②		復元する	バックアップで作成したファイルを指定します。 ファイルを読み込ませると、アプリケーションが再起動します。 再起動後、SmartPSS のログインパスワードの入力が必要となります。

3.8.5. SmartPSS からデバイスへの時刻設定

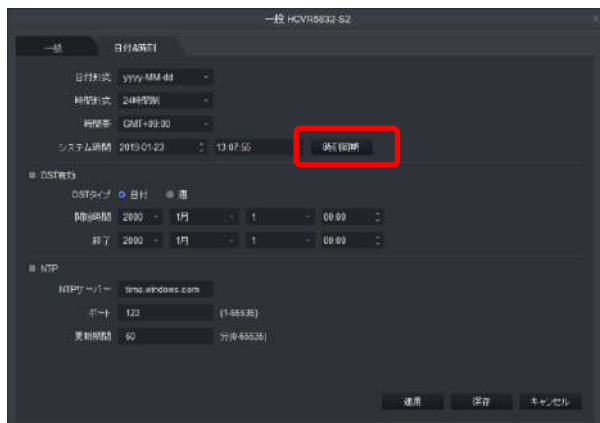
「デバイス設定」を開き、ログイン済みのデバイスを選択します。
「システム」→「一般」をクリックして下さい。



「日付&時刻」をクリックして下さい。



「時刻同期」をクリックすると、PC の時刻設定とデバイスの時刻設定が同期します。



以上

1. 本手順書について	2
2. インストール／アンインストール	3
2.1. 環境	3
2.1.1. 動作環境	3
2.1.2. アプリケーション種別	3
2.2. iOS 版 (iDMSS)	3
2.2.1. インストール	3
2.2.2. アンインストール	6
2.3. Android 版 (gDMSS)	7
2.3.1. インストール	7
2.3.2. アンインストール	9
3. DMSS 簡易操作手順	11
3.1. DMSS への登録	11
3.2. ライブビュー	14
3.2.1. ライブビュー表示	14
3.2.2. ライブビュー停止	15
3.2.3. PTZ 操作	15
3.3. 録画再生	16
3.3.1. 再生	16
3.3.2. 再生停止	17
4. お気に入り操作手順	18
4.1. お気に入り登録	18
4.1.1. お気に入り登録①	18
4.1.2. お気に入り登録②	18
4.1.3. お気に入り登録③	19
4.2. お気に入り再生	19
4.2.1. お気に入り再生①	19
4.2.2. お気に入り再生②	19
4.3. お気に入り削除	20
4.3.1. お気に入り削除	20
5. デバイスリスト移行手順	21
5.1. デバイスリストのバックアップ	21
5.1.1. デバイス選択	21
5.1.2. QR コード表示	21
5.2. デバイスリストのインポート (同一機器間の移行)	22
5.2.1. デバイスマネージャの表示	22
5.2.2. デバイスリストのインポート①	22
5.2.3. デバイスリストのインポート②	22
5.2.4. デバイスリストのインポート③	23
5.3. デバイスリストのインポート (別機器への移行)	23
5.3.1. デバイスリストのインポート①	23
5.3.2. デバイスリストのインポート②	23
5.3.3. デバイスリストのインポート③	23

1. 本手順書について

- ・本手順書は Dahua 社のアプリケーションを簡単に使用して頂くための手順書です。
- ・本手順書のアプリケーションは「DMSS (gDMSS/iDMSS)」のアプリケーションに絞っております。
- ・ご使用されているアプリケーションのバージョンによって、本手順書と一部異なる画面になる場合がございます。
- ・P2P ならびに DDNS の設定に関しましては、カメラならびにレコーダの手順書を参照してください。

ODMSS Plus 無償化について

従来有償だった DMSS Plus が、2018/05/15 をもって無償化されました。

DMSS Lite は、今後はバージョンアップの対象から外れます。

DMSS Plus がバージョンアップの対象となるので、Lite をご利用の方は Plus をインストールして使用して下さい。

2. インストール／アンインストール

・iOS 版の iDMSS HD Lite/iDMSS Lite、Android 版の gDMSS HD Lite/gDMSS Lite のインストールの手順を以下に明記します。

2.1. 環境

2.1.1. 動作環境

項目	スペック
OS	iOS 6.0 以上(iDMSS) Android 3.0 以上(gDMSS)
CPU	1GHz 以上
RAM	1GB 以上
解像度	480x800 解像度以上

2.1.2. アプリケーション種別

アプリケーション	推奨機器
iDMSS Lite / gDMSS Lite	スマートフォン
iDMSS HD Lite / gDMSS HD Lite	タブレット

※DMSS Lite をタブレット、DMSS HD Lite をスマートフォンで使用することも可能です。

2.2. iOS 版 (iDMSS)


- ・本手順書では、iOS のバージョンが“9.3.5”で iPad mini を用いています。インストールされるバージョン、ご使用の機器や画面レイアウトによっては、本手順書と一部異なる画面になる場合がございます。
- ・本手順書は「iDMSS HD Lite」のインストールの手順を説明しています。「iDMSS Lite」のインストールにつきましては「iDMSS HD Lite」と手順は同じですので、本手順書を参考に「iDMSS Lite」をインストールしてください。

2.2.1. インストール

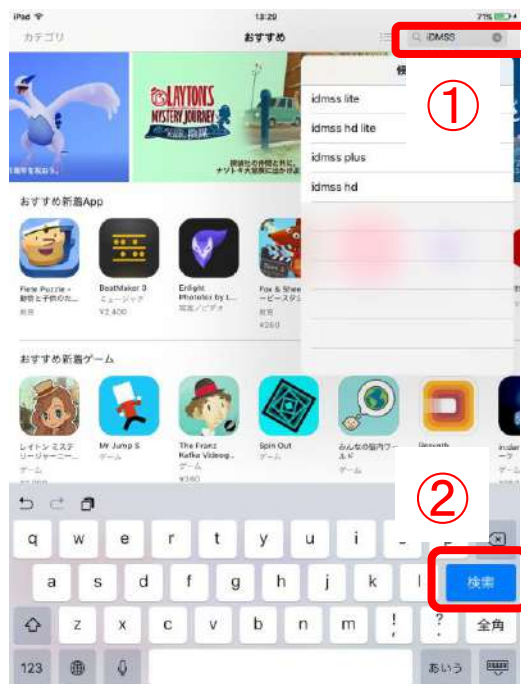
iDMSS HD Lite は「App Store」からダウンロードならびにインストールを行うことができます。

1) App Store の表示



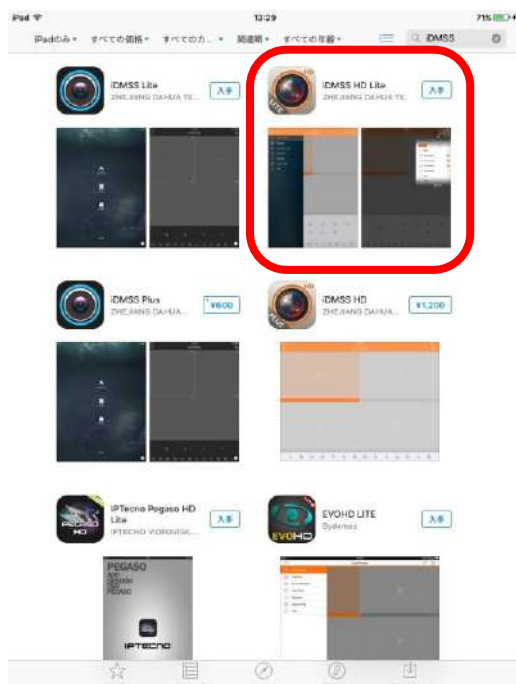
画面上的『App Store』のアイコン  をタッチします。

2) 「iDMSS」の検索



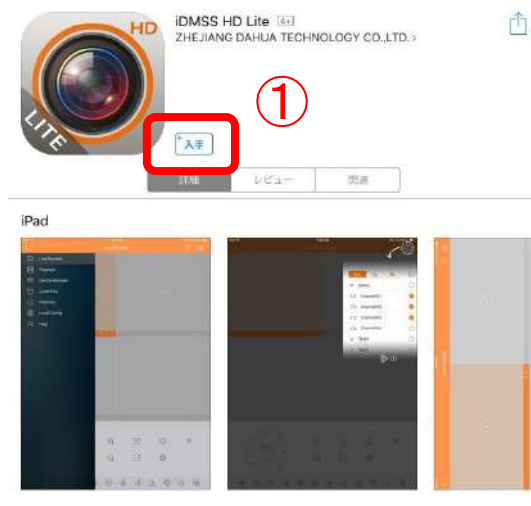
- ①App Store の右上の「検索」 をタッチすると、キーボードが表示されますので「iDMSS」と入力します。
- ②表示されているキーボードの『検索』ボタンをタッチすると、検索結果の一覧が表示されます。


3) インストールするアプリケーションの選択



検索結果一覧の中から『iDMSS HD Lite』の項目をタッチしてください。「iDMSS HD Lite」のアプリケーションの入手画面が表示されます。



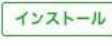


4) 「iDMSS HD Lite」の入手(インストール)



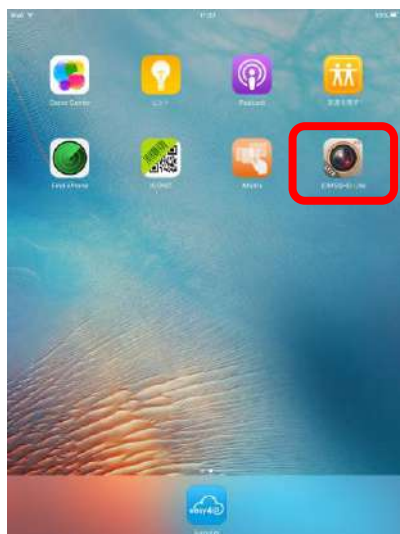
- ①画面上の『入手』のボタン  をタッチします。
- ②iTunes Store のサインイン画面が表示されますので、パスワード欄をタッチし、Apple ID のパスワードを入力してください。
- ③パスワード入力終了後、『OK』をタッチしてください。






※インストール時のアイコン表示

『入手』のボタン  をタッチすると  →  →  の順にボタンが変更されます。『開く』のボタン  に変更されると、インストールは終了です。

5) ホーム画面のショートカットアイコンの確認

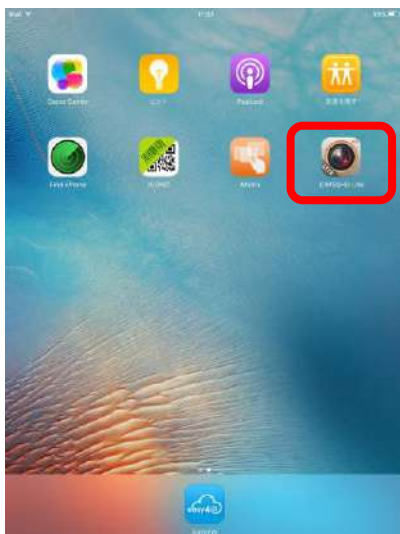


- ①iPhone/iPad の本体にあるホームボタン  を押下してください。ホーム画面に戻ります。
- ②ホーム画面に「iDMSS HD Lite」のショートカットアイコン  が追加されています。

※この  のアイコンをタッチすれば、「iDMSS HD Lite」が起動します。

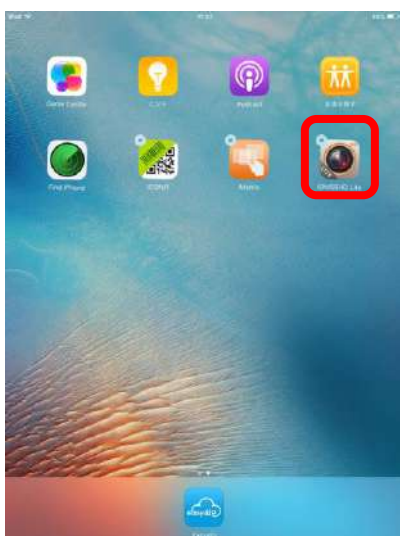
2.2.2. アンインストール



1) 削除のアイコンに変更




削除する「iDMSS HD Lite」のアイコンを長押しします。

2) 「iDMSS HD Lite」を削除



- ①アイコンの左上に  が付きますので、「iDMSS HD Lite」のアイコンの  をタッチしてください。
- ②削除確認の画面が表示されますので、『削除』をタッチしてください。



- ③iPhone/iPad の本体にあるホームボタン  を押下してください。他のアイコンが元に戻ります。

2.3. Android 版 (gDMSS)


- ・本手順書では、Android のバージョンが“Android 4.2.2”のスマートフォンを用いています。ご使用の機器のバージョンや画面レイアウトによっては、本手順書と一部異なる画面になる場合がございます。
- ・本手順書は「gDMSS Lite」のインストールの手順を説明しています。「iDMSS HD Lite」のインストールにつきましては「iDMSS Lite」と手順は同じですので、本手順書を参考に「iDMSS HD Lite」をインストールしてください。

2.3.1. インストール

「gDMSS Lite」は「Play ストア」からダウンロードならびにインストールを行うことができます。


1) 「Play ストア」の表示







画面上の『Play ストア』のアイコン  をタッチします。

2) 「gDMSS」の検索



① Play ストアの上の「Google Play」  をタッチすると、キーボードが表示されますので「gDMSS」と入力します。

② 表示されているキーボードの右下のボタンが、『確定』  の場合は、『確定』  をタッチしてください。  のボタンに変更されます。

③ 表示されているキーボードの右下の『検索』のボタン  をタッチすると、検索結果の一覧が表示されます。

3) インストールするアプリケーションの選択



検索結果一覧の中から『gDMSS Lite』の項目をタッチしてください。『gDMSS Lite』のアプリケーションの入手画面が表示されます。

※画面にない場合は、下側や右側に表示しきれないため、隠れている場合があります。画面をスクロールさせて『gDMSS Lite』を探してください。

4) 「gDMSS Lite」の入手(インストール)

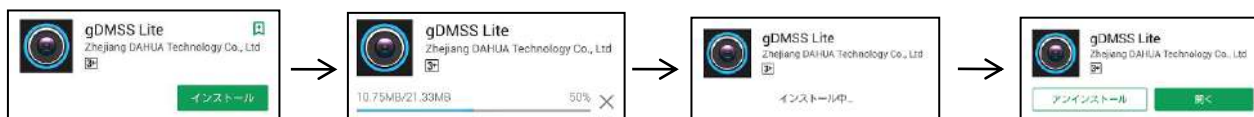


①『インストール』のボタン **インストール** をタッチします。

②アクセス確認画面が表示されますので、アクセス内容を確認し、『同意する』のボタン **同意する** をタッチしてください。


※インストール時のアイコン表示


『同意する』のボタン **同意する** をタッチすると下記の順にアイコン表示が変更されます。『開く』のボタン **開く** に変更されると、インストールは終了です。




5) ホーム画面のショートカットアイコンの確認



①Android の本体にあるホームボタン  をタッチしてください。ホーム画面に戻ります。

②ホーム画面に「gDMSS Lite」のショートカットアイコン  が追加されています。


※この  のアイコンをタッチすれば、「gDMSS Lite」が起動します。

2.3.2. アンインストール

「gDMSS Lite」は「Play ストア」からアンインストールを行うことができます。

1) 「Play ストア」の表示







画面上の『Play ストア』のアイコン  をタッチします。

2) 「gDMSS」の検索



①Play ストアの上の「GooglePlay」  をタッチすると、キーボードが表示されますので「gDMSS」と入力します。

②表示されているキーボードの右下のボタンが、『確定』  の場合は、『確定』  をタッチしてください。  のボタンに変更されます。

③表示されているキーボードの右下の『検索』のボタン  をタッチすると、検索結果の一覧が表示されます。

3) アンインストールするアプリケーションの選択



検索結果一覧の中から『gDMSS Lite』の項目をタッチしてください。「gDMSS Lite」のアプリケーションの入手画面が表示されます。

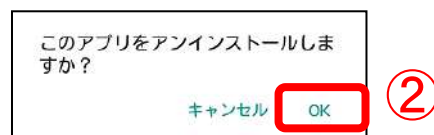
※画面にない場合は、下側や右側に表示しきれないため、隠れている場合があります。画面をスクロールさせて『gDMSS Lite』を探してください。

4) 「gDMSS Lite」のアンインストール



①『アンインストール』のボタン **アンインストール** をタッチします。

②アンインストール確認画面が表示されますので、『OK』をタッチしてください。



③アンインストールが開始され、「gDMSS Lite」が削除されます。

3. DMSS 簡易操作手順

- ・本手順書では、Android のバージョンが“Android 4.2.2”のスマートフォン、「gDMSS Lite」のバージョンの“3.49.001”を用いています。ご使用の機器のバージョンや画面レイアウトによっては、本手順書と一部異なる画面になる場合がございます。
- ・以下、「iDMSS Lite／gDMSS Lite」を「DMSS Lite」、「iDMSS HD Lite／gDMSS HD Lite」を「DMSS HD Lite」とします。

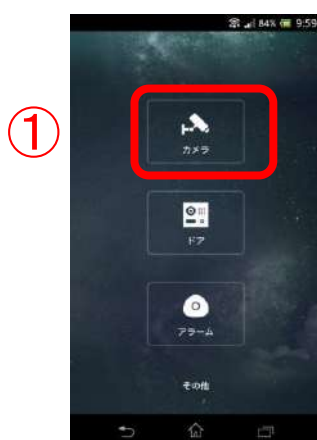
3.1. DMSS への登録



をタッチして、「DMSS Lite」／「DMSS HD Lite」を起動させます。

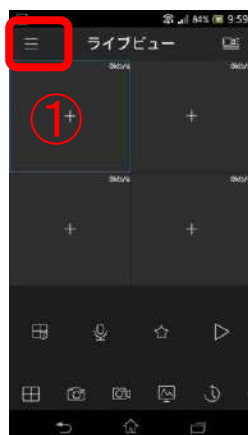
1) ホーム画面

起動時にホーム画面が表示された場合は『カメラ』をタッチし、ライブビュー画面を表示させてください。
※但し、「DMSS HD Lite」はこのホーム画面は表示されません。

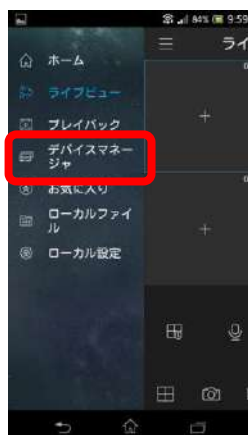



①『カメラ』のアイコン  をタッチします。

2) デバイスマネージャ画面の表示

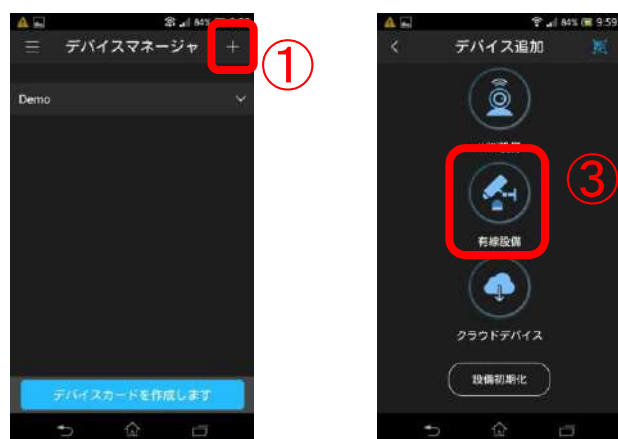


②

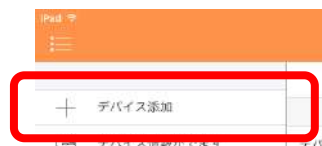


- ①ライブビュー画面の左上の  をタッチし、メニュー項目を表示させます。
- ②一覧から『デバイスマネージャ』をタッチします。

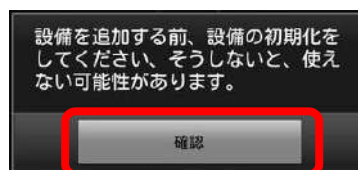
3) デバイス追加



- ①デバイスマネージャ画面の右上の⁺をタッチします。
※「DMSS HD Lite」のデバイス追加は左上の『+ デバイス追加』をタッチします。



- ②初期化確認メッセージが表示されますので、『確認』をタッチします。※「DMSS HD Lite」では表示されません。




- ③『有線設備』をタッチします。

4-1) 接続方法の選択 (P2P)



- ①『P2P』をタッチします。
②P2P 設定画面が表示されますので、各項目を設定します。

[デバイス名]	DMSS に登録する名前を入力します。 ※入力名は任意の名前でも可能
[シリアル No]	カメラ/レコーダのシリアル番号を入力します。  をタッチすることで、箱や P2P 設定画面にシリアル番号の QR コードで読み込むことができます。
[ユーザー名]	接続するカメラ/レコーダのユーザー名、パスワードを入力します
[パスワード]	
[ライブビュー]	ライブビュー表示の際の映像を選択します。
[プレイバック]	プレイバック表示の際の映像を選択します。

- ③『ライブビュー開始』をタッチし、ライブビュー画面を表示させます。

4-2) 接続方法の選択 (IP/ドメイン名)



- ①『IP/ドメイン名』をタッチします。
②IP/ドメイン名設定画面が表示されますので、各項目を設定します。

[デバイス名]	DMSS に登録する名前を入力します。 ※入力名は任意の名前でも可能
[IP アドレス]	カメラ/レコーダの IP アドレスを入力します。
[ポート番号]	カメラ/レコーダに設定している TCP ポート番号を入力します。デフォルトは“37777”です。
[ユーザー名]	接続するカメラ/レコーダのユーザー名、パスワードを入力します
[パスワード]	
[ライブビュー]	ライブビュー表示の際の映像を選択します。
[プレイバック]	プレイバック表示の際の映像を選択します。

- ③『ライブビュー開始』をタッチし、ライブビュー画面を表示させます。

4-3) 接続方法の選択(Quick DDNS)

カメラ／レコーダの DDNS 設定の際に DDNS のドメイン名が”quickddns.com”の場合の登録です。



①『Quick DDNS』をタッチします。

②Quick DDNS 設定画面が表示されますので、各項目を設定します。

[デバイス名]	DMSS に登録する名前を入力します。 ※入力名は任意の名前でも可能
[IP アドレス]	カメラ／レコーダで DDNS 設定した際の設定したドメイン名を入力します。
[ユーザー名]	接続するカメラ／レコーダのユーザー名、パスワードを入力します
[パスワード]	
[ライブビュー]	ライブビュー表示の際の映像を選択します。
[プレイバック]	プレイバック表示の際の映像を選択します。

③『ライブビュー開始』をタッチし、ライブビュー画面を表示させます。

4-4) 接続方法の選択(Dahua DDNS)

カメラ／レコーダの DDNS 設定の際に DDNS のドメイン名が”dahuaddns.com”の場合の登録です。



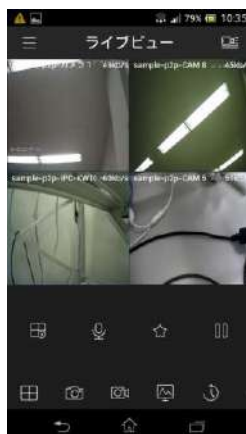
①『Dahua DDNS』をタッチします。

②Dahua DDNS 設定画面が表示されますので、各項目を設定します。

[デバイス名]	DMSS に登録する名前を入力します。 ※入力名は任意の名前でも可能
[IP アドレス]	カメラ／レコーダで DDNS 設定した際の設定したドメイン名を入力します。
[ユーザー名]	接続するカメラ／レコーダのユーザー名、パスワードを入力します
[パスワード]	
[ライブビュー]	ライブビュー表示の際の映像を選択します。
[プレイバック]	プレイバック表示の際の映像を選択します。

③『ライブビュー開始』をタッチし、ライブビュー画面を表示させます。

5) ライブビュー画面表示



接続の設定が正しく入力されている場合は、ライブビュー画面にて登録を行ったカメラ／レコーダの映像が表示されます。

3.2. ライブビュー


DMSS に登録されているカメラ／レコーダの表示や切り替えの手順です。DMSS に登録されていない場合は、DMSS の登録を行ってください。

3.2.1. ライブビュー表示

1) ライブビュー画面への切り替え

ライブビュー画面でない場合は、ライブビュー画面に表示の切り替えを行います。





- ①画面左上の  をタッチし、メニュー項目を表示させます。
- ②一覧から『ライブビュー』をタッチします。

2) 表示するデバイス選択

※選択するカメラの数が増えると、スムーズなライブ映像が表示されなくなりますのでご注意ください。

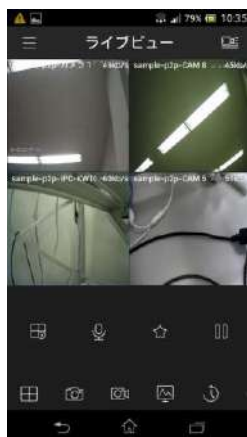


- ①ライブビュー画面右上のアイコン  をタッチし、デバイスリストを表示させます。
- ②リスト一覧からライブ映像を表示するカメラを選択します。
※「0Channel」は1画面に多画面の表示(画面数はレコーダによって異なります)をすることができます。表示するためには、レコーダ側の設定が必要です。

※デバイス名の右の  をタッチすれば、レコーダに接続されているカメラの一覧が表示されます。

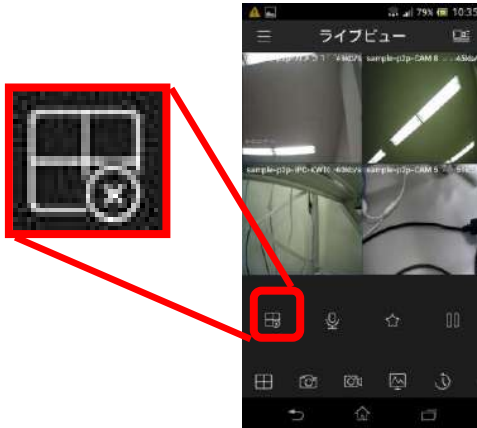
- ③『ライブビュー開始』をタッチすれば、選択されたカメラのライブ映像が表示されます。


3) ライブビュー画面



選択されたカメラの映像が表示されます。
※画面をダブルタッチで1画面⇄4画面表示が切り替わります。

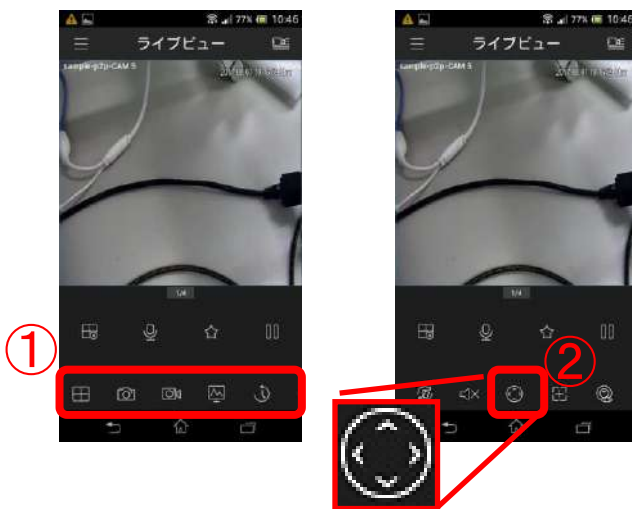
3.2.2. ライブビュー停止




下段のアイコンの一覧から  のアイコンをタッチすると、ライブビューを行っている画面全て停止します。

3.2.3. PTZ 操作

1) PTZ 操作選択



①下段のアイテムのリストをタッチしながら左右に動かし、PTZ 操作のアイコン  を表示させてください。






②  のアイコン

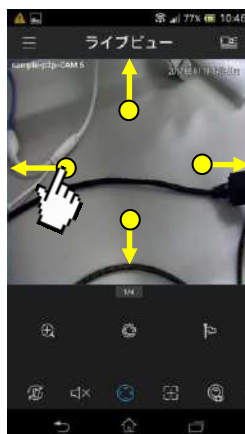
をタッチし、PTZ 操作画面にします。

※上段のアイテムが PTZ 操作アイテムに変更され、 のアイコンが青色のアイコン  に変更されます。



※PTZ 操作終了は、もう一度 PTZ の操作のアイコン  をタッチし、青色のアイコン  から白色のアイコン  に変更されれば、PTZ 操作は終了します。

2) PTZ の旋回操作



①表示画面上でタッチしながらカメラを動かしたい方向に動かしてください。


※「DMSS HD Lite」は画面上に操作コントロールが表示されますので、表示された操作コントロールで操作してください。






白い中心円を旋回方向に動かすとカメラは旋回します。

3) PTZ のズーム操作



① 下段にある  のアイコン(「DMSS HD Lite」は画面上)をタッチします。

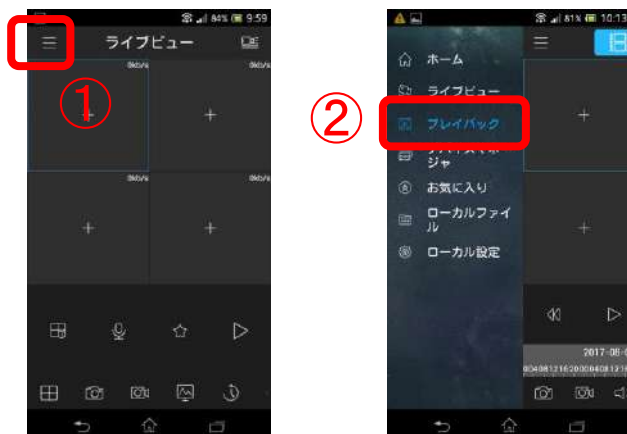
②  と  が画面右下(「DMSS HD Lite」は  の横)に表示されますので、この『+』、『-』のアイコンをタッチすることでズームの操作が行えます。


3.3. 録画再生

DMSS に登録されているカメラ/レコーダに録画されている映像の再生手順です。DMSS に登録されていない場合は、DMSS の登録を行ってください。

3.3.1. 再生

1) 録画再生画面の表示




①  をタッチし、メニュー項目を表示させます。

② 一覧から『プレイバック』をタッチします。

2) 再生条件設定

※再生するカメラの数が多くなると、スマートフォンなどに負荷がかかり、再生されなくなりますのでご注意ください。




① 表示する画面の中央の  をタッチし、再生条件の設定画面を表示させます。

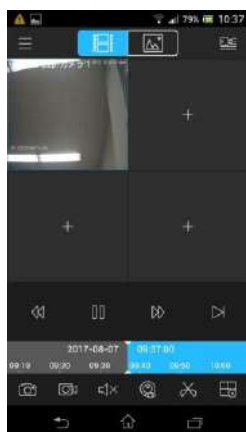
② 再生条件を設定します。

[時間]	上段	再生開始時間
	下段	再生終了時間
※開始終了時間をタッチすれば、時間変更ができます。		
[レコードタイプ]	[オール]	録画データ全て
	[通常]	標準録画映像のみ
	[アラーム]	アラーム検知映像のみ
	[動体検知]	動体検知映像のみ

③ 再生を行うカメラを選択します。

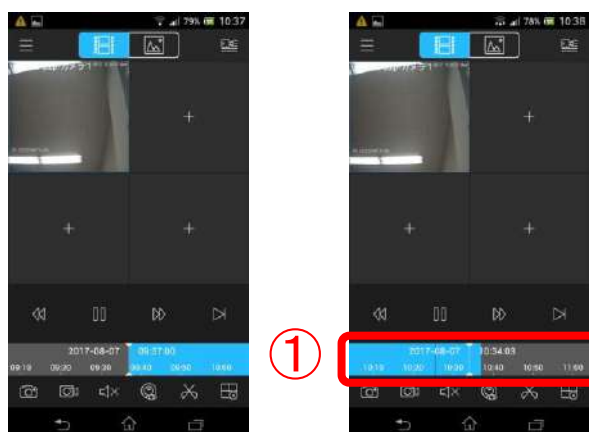
※デバイス名の右の  をタッチすれば、レコーダに接続されているカメラの一覧が表示されます。

3) 録画映像画面




設定された条件のカメラの録画映像が表示されます。
※画面をダブルタッチで1画面⇄4画面表示が切り替わります。

4) 再生時間変更

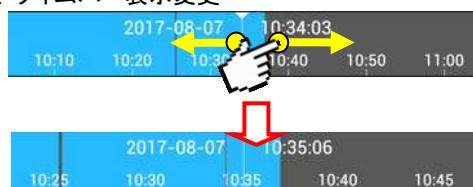


①タイムバーをタッチしながら左右に移動することで再生時間を変更できます。



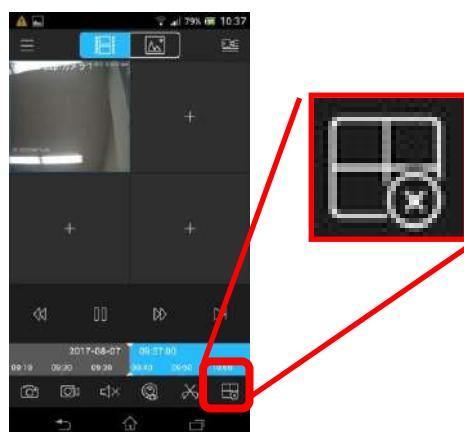
※の位置の時間が、再生時間です。

※ タイムバー表示変更



拡大したい時間を 2 本の指で広げると、表示時間の間隔が拡大表示されます。逆に狭めると、表示時間の間隔が縮小表示されます。

3.3.2. 再生停止



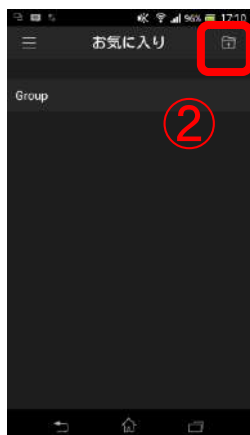
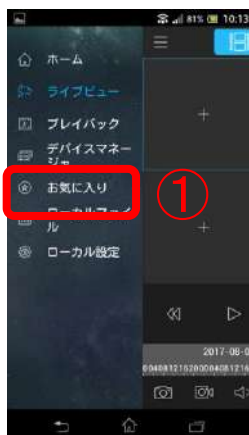
下段のアイコンの一覧からのアイコンをタッチすると、再生を行っている画面全て停止します。

4. お気に入り操作手順

- ・本手順書では、Android のバージョンが“Android 4.2.2”のスマートフォン、「gDMSS Lite」のバージョンの“3.49.001”を用いています。ご使用の機器のバージョンや画面レイアウトによっては、本手順書と一部異なる画面になる場合がございます。
- ・以下、「iDMSS Lite／gDMSS Lite」を「DMSS Lite」、「iDMSS HD Lite／gDMSS HD Lite」を「DMSS HD Lite」とします。

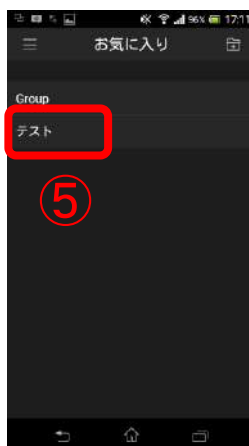
4.1. お気に入り登録

4.1.1. お気に入り登録①



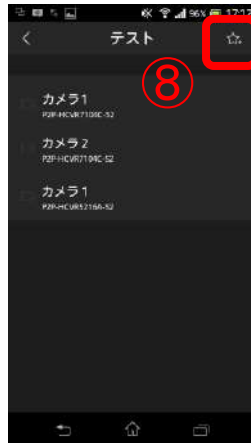
- ① カメラメニューから、「お気に入り」をタップして下さい。
- ② お気に入りメニューから、右上のアイコンをタップして下さい。

4.1.2. お気に入り登録②



- ③ 任意の名前を入力して下さい(ここでは「テスト」という名前のお気に入りを作成します)。
- ④ 「確認」をタップして下さい。
- ⑤ 作成したお気に入りが表示されるのでタップして下さい。

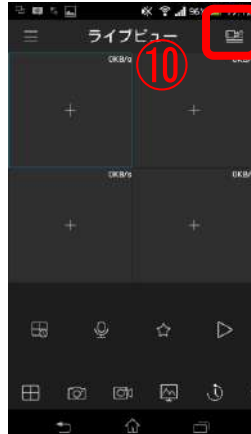
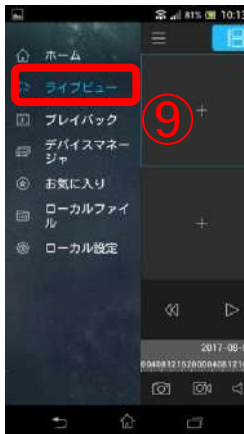
4.1.3. お気に入り登録③



- ⑥ デバイスマネージャに登録したデバイスが表示されます。表示したいカメラをタップして選択して下さい。
- ⑦ 選択したら右上の青い「レ」をタップして下さい。
- ⑧ 選択したカメラが表示されます。右上の「☆」をタップすると保存されます。

4.2. お気に入り再生

4.2.1. お気に入り再生①



- ⑨ カメラメニューライブビューをタップして下さい。
- ⑩ 右上のカメラアイコンをタップして下さい。

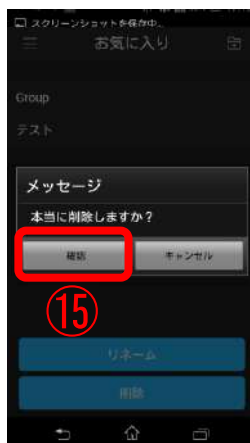
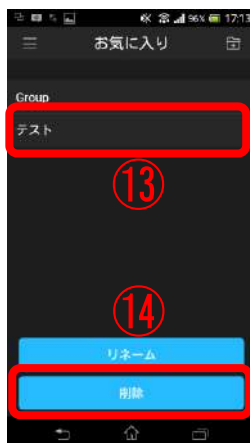
4.2.2. お気に入り再生②



- ⑪ 登録したお気に入りをチェックして下さい。
- ⑫ 「ライブビュー開始」をタップして下さい。これでお気に入りの再生が開始されます。

4.3. お気に入り削除

4.3.1. お気に入り削除



- ⑬ 削除したいお気に入りを長押しして下さい。
- ⑭ 「リネーム」「削除」のメニューが表示されるので、「削除」をタップして下さい。
- ⑮ 「確認」をタップして下さい。

5. デバイスリスト移行手順

本手順書では DMSS Lite から、Plus へデバイスリストを移行する手順を記載します。
この手順は、そのまま別端末へのデバイスリストの移行する作業にもご利用頂けます。

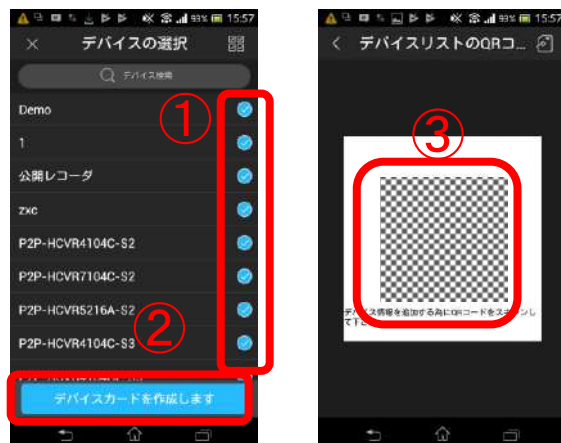
5.1. デバイスリストのバックアップ

5.1.1. デバイス選択



- ① メニューから、「デバイスマネージャ」を表示して下さい。
- ② 「デバイスカードを作成します」をタップして下さい。

5.1.2. QR コード表示

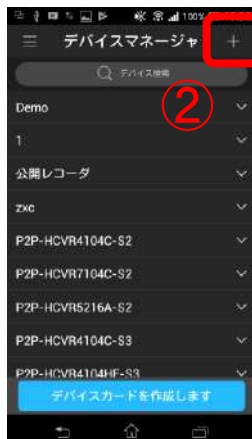


- ① 画面右側にトグルボタンが表示されるので、バックアップしたいデバイスをクリックして下さい（一度に選択できるのは最大 10 デバイス）。
- ② 「デバイスカードを作成します」をタップして下さい。
- ③ QR コードの画面が表示されるので、スクリーンショットを取って下さい。

5.1.1～5.1.2 の作業は登録したデバイスリストの QR コードを全て表示させるまで実施して下さい。

5.2. デバイスリストのインポート(同一機器間の移行)

5.2.1. デバイスマネージャの表示



- ① メニューから、「デバイスマネージャ」を表示して下さい。
- ② 画面右上の「+」をタップして下さい。

5.2.2. デバイスリストのインポート①



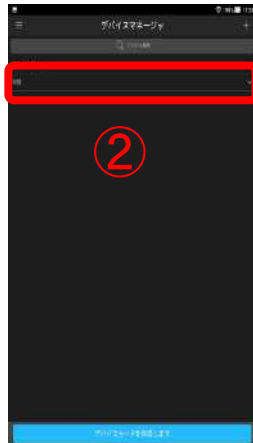
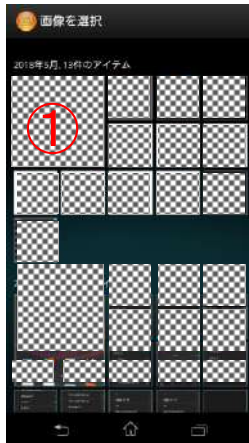
- ① 「確認」をタップして下さい。
- ② 画面右上のアイコンをタップして下さい。

5.2.3. デバイスリストのインポート②



- ① アイコンをタップして下さい。
- ② 「アルバム」をタップして下さい。
- ③ 「今回限り」をタップして下さい。

5.2.4. デバイスリストのインポート③



- ① 事前に作成したスクリーンショットをタップして下さい。
- ② インポートされたデバイスは「時間」に登録されます。タップしてデータを確認して下さい。

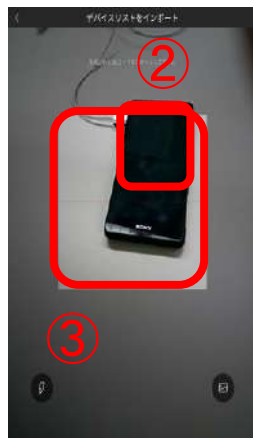
5.2.1～5.2.4 の作業は登録したデバイスリストの QR コードを全てインポートするまで実施して下さい。

5.3. デバイスリストのインポート(別機器への移行)

5.3.1. デバイスリストのインポート①

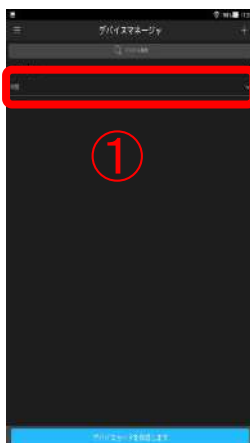
前章の 5.2.1～5.2.2 を実施して下さい。

5.3.2. デバイスリストのインポート②



- ① アイコンをタップして下さい。
- ② 移行元のスマホに撮影した QR コードを表示させて下さい。
- ③ 口の中に QR コードを入れて下さい。

5.3.3. デバイスリストのインポート③



- ① インポートされたデバイスは「時間」に登録されます。タップしてデータを確認して下さい。

5.3.1～5.3.3 の作業は登録したデバイスリストの QR コードを全てインポートするまで実施して下さい。

以上